

R2年度 高校改革アンケート 調査結果報告

令和3年3月
高校改革・特別支援教育課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	2
III 調査結果	4
1 全県一学区制度について	5
2 前期募集制度について	7
① 前期募集の評価	7
② 前期募集を評価する理由	9
③ 前期募集を評価しない理由	11
④ 前期募集への出願	12
⑤ 前期募集の出願理由	13
⑥ 前期募集の不出願理由	14
3 学校選択・高校生活等について	15
① 公立高校選択の理由	15
② 学校選択の理由	16
③ 学校選びの参考	19
④ 生徒の通学時間	20
⑤ 高校卒業後の希望	22
⑥ 高校卒業後・進学後の就職地の希望	23
⑦ 高校に関して知りたい情報	24
⑧ 高校の満足度	25
⑨ 地域の高校の満足度・特色ほか	29
⑩ 高校に関する情報	30
4 魅力ある高校づくりについて	31
① 今後必要となる学校	31
② 多様なニーズへの対応	33
③ 日本語が苦手な外国籍生徒への対応	34
④ 設置を希望する学科	35
⑤ 公立高校に求める施設や設備	37
⑥ 高校における職業教育	39
⑦ 高校と地域との関わり	40
⑧ 今後の地域との連携・協働	41
⑨ これからの高校で重要なもの	42
⑩ ICT教育の推進	43
⑪ 生徒減少期の学校数	44

I 調査の概要

1. 調査の目的

県内の中学生、高校生、保護者並びに中学及び高校の教員の入試制度や公立高校に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得る。

2. 調査対象

- (1) 中学3年生 全県から地域の偏りなく抽出した中学校(36校)の1学級の生徒全員
- (2) 高校1年生 県立高校(全日制25校及び定時制7校)及び甲府商業高校の1学級の生徒全員
- (3) 保護者 (1)及び(2)の保護者
- (4) 教員 (1)の中学校及び(2)の高校の全学年全クラス担任

3. 調査方法

各学校を通じて調査票を配付の上実施

4. 調査時期

令和2年12月～令和3年1月

5. 回収結果

調査対象者	対象数(人)	回収数(人)	回収率
中3生徒	1,014	969	95.6%
中3保護者	1,010	943	93.4%
中学校教員	385	384	99.7%
高1生徒	1,003	989	98.6%
高1保護者	1,003	974	97.1%
高校教員	522	522	100.0%
合計	4,937	4,781	96.8%

参考

(1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問において、全体の傾向を示し、必要に応じて次のとおり分析を行った。

- 経年 昨年度以前の本調査との比較
- 調査対象者別 その設問に回答した調査対象者ごとに分析
- 学科別 学科ごとに分析
- 居住地別 生徒の居住地域ごとに分析
- 地域別 学校所在地域ごとに分析

Ⅱ 調査結果の概要

1 入学者選抜制度について

- ・ 全県一学区制度

肯定的な回答が81.7%であり、過去5年の推移は、肯定的な回答が80%程度で推移しており、同制度の評価は良好である。

2 前期募集制度について

- ・ 前期募集制度

肯定的な回答が74.9%であり、過去5年の推移は、肯定的な回答が上昇傾向である。

- ・ 前期募集を評価する主な理由と評価しない主な理由

前期募集を評価する理由としては「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」を挙げた者が57.5%と最も多い。

前期募集を評価しない理由としては「入試は学力検査を行うべき」を挙げた者が36.1%と最も多い

- ・ 前期募集への出願とその理由

出願予定の中3生徒が41.3%、出願した高1生徒が30.5%である。中3生徒の出願予定の過去5年の推移では、過去4年は30%台だったが、今年は40%台に上昇した。

また、中3生徒の出願の理由としては、「どうしても入学したい(29.8%)」「出願条件が当てはまる(25.5%)」が多い。

3 学校選択・高校生活等について

- ・ 公立高校選択の理由

高1生徒の公立高校選択の理由は「進学実績(27.2%)」「雰囲気やイメージ(19.6%)」が多い。

- ・ 学校選択の理由

高1生徒の学校選択の理由は「学力レベル(26.0%)」「通学が便利(15.8%)」が多い。

中3生徒では、「学力レベル(23.2%)」「学校の雰囲気(14.8%)」が多い。

- ・ 学校選びの参考

中3生徒、高1生徒ともに、「オープンスクール・学校説明会(中3:38.2%、高1:37.7%)」が最も多い。

- ・ 高校卒業後の希望

中3生徒の高校卒業後の進路希望は、「大学・短大進学(55.5%)」が最も多い。

- ・ 高校卒業後・進学後の就職地の希望
中3生徒・保護者では、「山梨県内(37.3%)」「山梨県外(23.2%)」である。
高1生徒では、「山梨県内(40.4%)」「山梨県外(27.3%)」である。
中3生徒、高1生徒ともに、まだ考えていない生徒は約3割である。
- ・ 高校の満足度
高1生徒では、「満足・ある程度満足(89.7%)」であり、高1の保護者では、「満足・ある程度満足(94.8%)」である。

4 魅力ある高校づくりについて

- ・ 今後必要となる学校
「総合制高校(31.9%)」「学際融合学科や地域探究学科などの新しい普通科のある学校(16.1%)」「専攻科を持つ学校(14.2%)」が多い。
- ・ 多様なニーズへの対応
「多様な学びが可能である定時制課程・通信制課程についての理解促進を図る(48.0%)」がほぼ半数である。
- ・ 日本語が苦手な外国籍生徒への対応
「日本語が特に苦手な生徒のため、日本語習得や日本文化理解を促進するコース・クラスを設置する(35.2%)」が多い。
- ・ 設置を希望する学科
中3生徒では「体育系(16.8%)」「情報系(15.3%)」、中3保護者では「情報系(20.4%)」「看護系(17.7%)」が多い。
- ・ 高校における職業教育
将来の職業を考えるため、高校で取り組んでほしい教育活動は、「職業選択の幅を広げるため、様々な分野の職業についての学習(59.9%)」が半数を越えた。
- ・ これからの高校で重要なもの
これからの高校で重要と思うことについては、「新たな価値を創造し、社会におけるイノベーションを牽引できる人材を育む学習を行うこと(35.4%)」が多い。
- ・ ICT教育の推進
ICT機器の利活用で期待することは、「音声・画像・動画の活用による分かりやすい授業(34.5%)」が多い。
- ・ 生徒減少期の学校数
生徒減少に際して、「高校数が減少することはやむを得ない(41.1%)」と「高校数は維持すべきだ(45.6%)」はほぼ拮抗している。

Ⅲ 調査結果

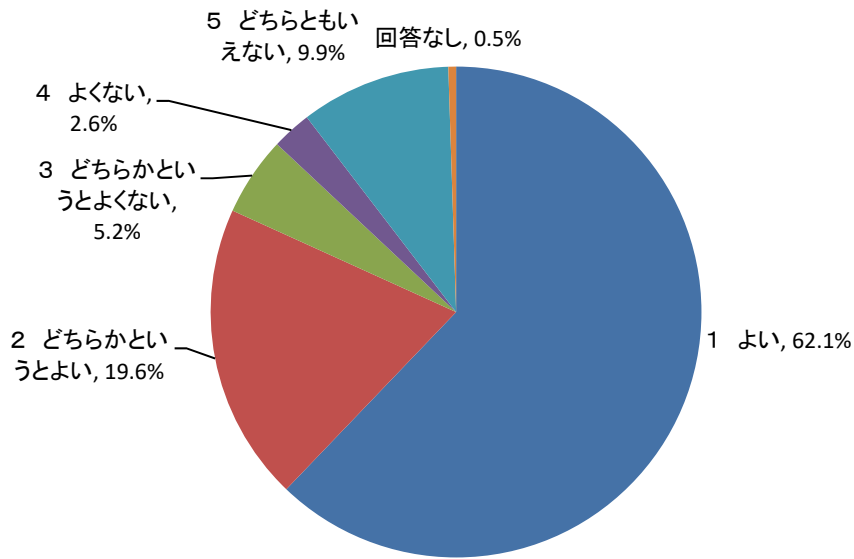
1 全県一学区制度について

【全調査対象者】

平成19年度入試より導入された全県一学区制度について、どのように考えるかを尋ねた。

(質問) 公立高校の入試は、県内どこからでも志願できる全県一学区制となっています。この制度についてどう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

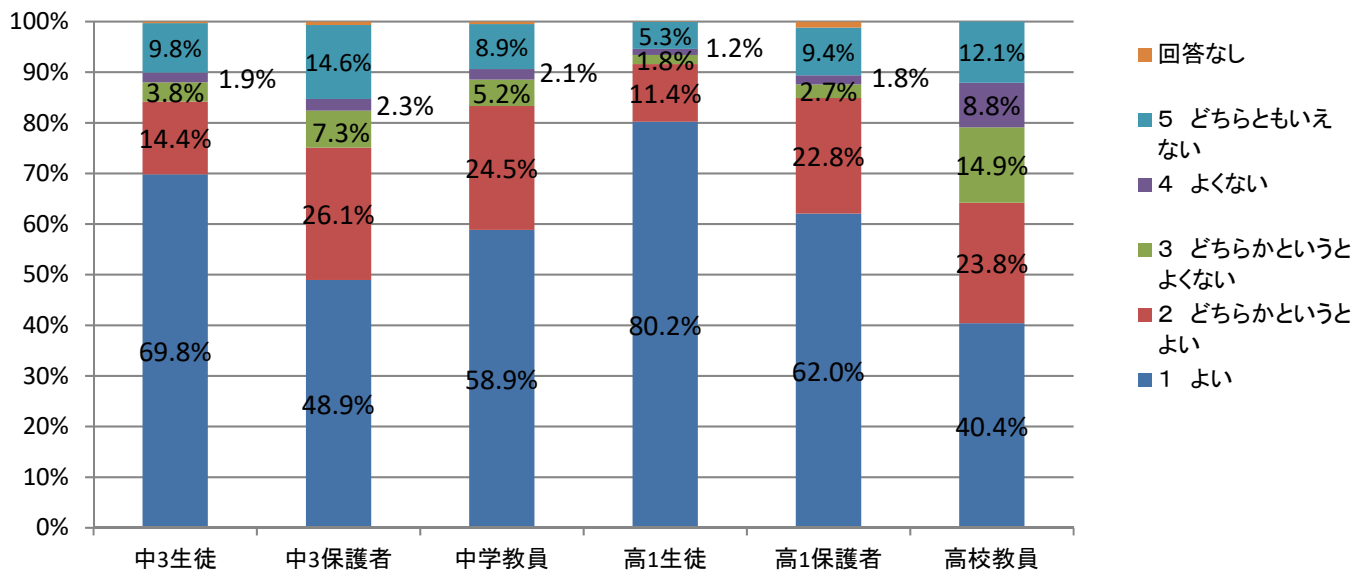
- 1 よい
- 2 どちらかというとい
- 3 どちらかというとい
- 4 よくない
- 5 どちらともいえない



【回答数:4781】

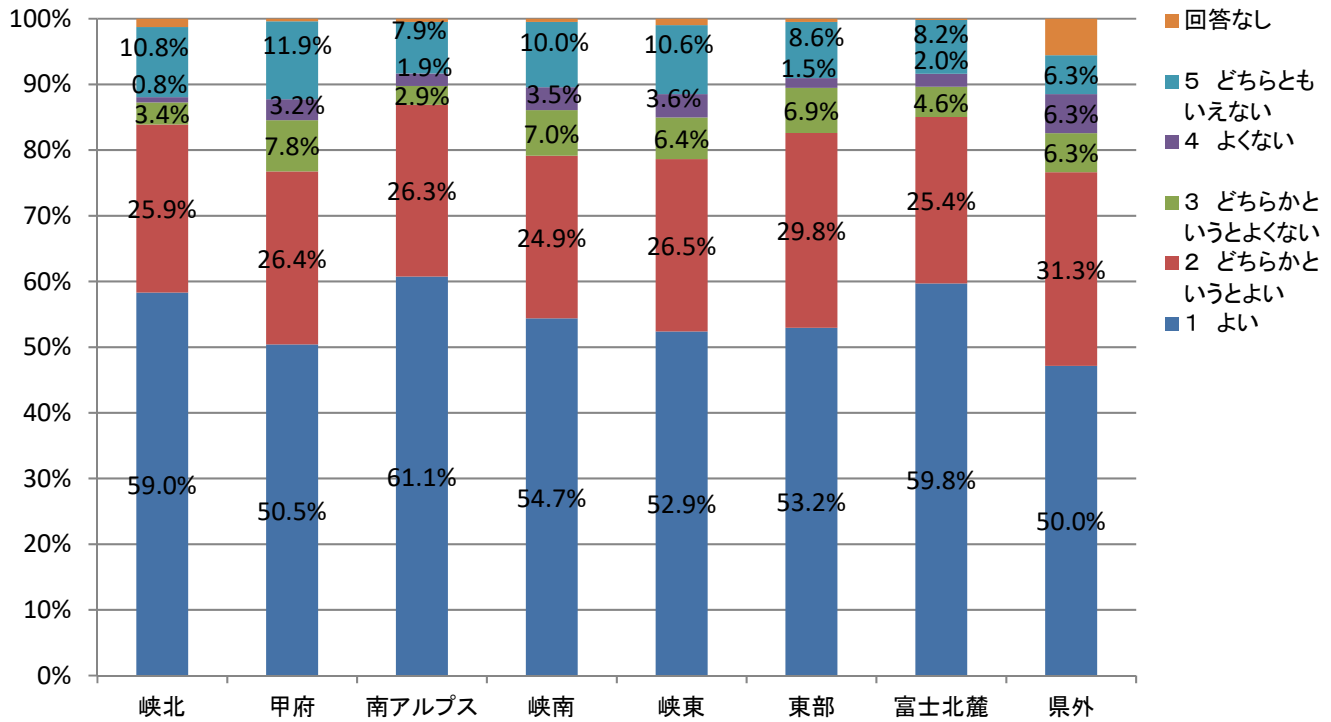
肯定的な回答が81.7%、否定的な回答が7.8%である。

●調査対象者別



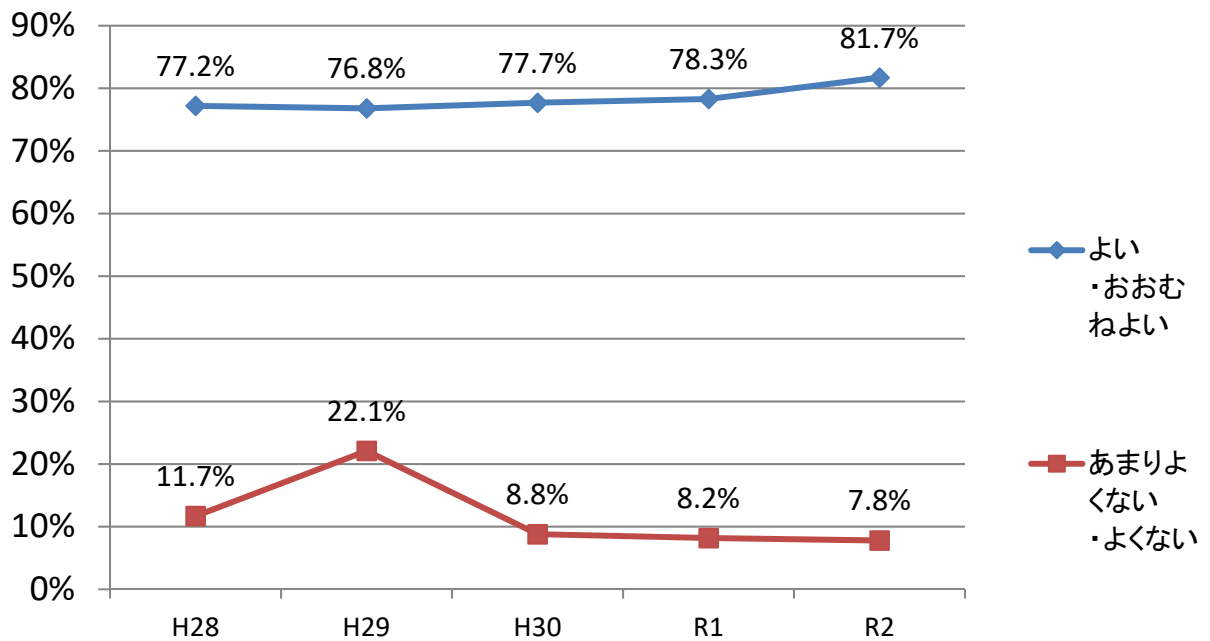
調査対象者別では、中3保護者と高校教員は相対的に肯定感が低いものの、全体的に肯定的な回答が多い。

●居住地別（生徒及び保護者）



居住地別では、甲府地域、峡南地域、峡東地域、県外の肯定感が相対的にやや低いが全体的に肯定感が高い。

●全県一学区制度評価の推移



H29調査より選択肢を「よくない」から「見直した方がよい」に変更。

H30調査では、「見直した方がよい」から「よくない」に変更。

2 前期募集制度について

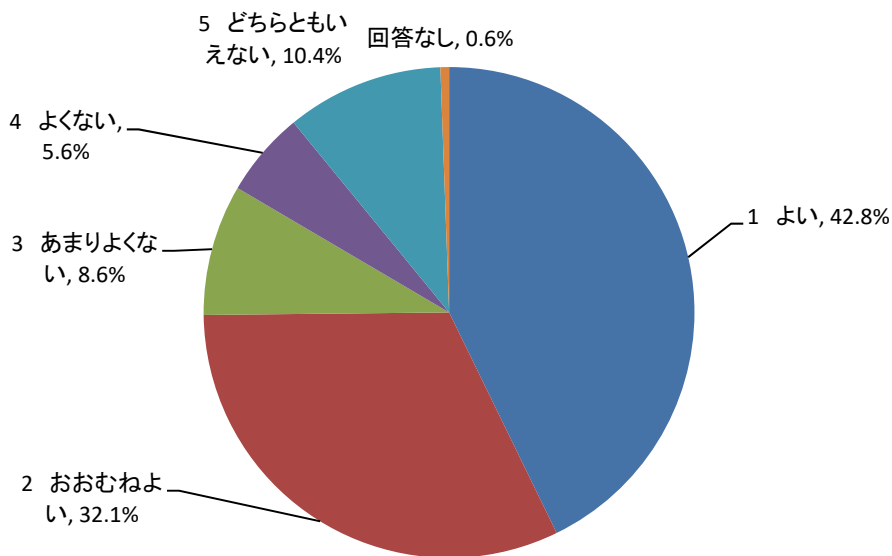
平成19年度入試より導入された前期募集制度について、どのように考えるかを尋ねた。

① 前期募集の評価

【全調査対象者】

(質問) 全日制の公立高校(甲陵高校を除く。)の入試では、5科目の学力検査によらずに各高校が定める多様な選抜方法からなる前期募集を実施していますが、この制度についてどう思いますか？ (次の中から1つ選んでください。)

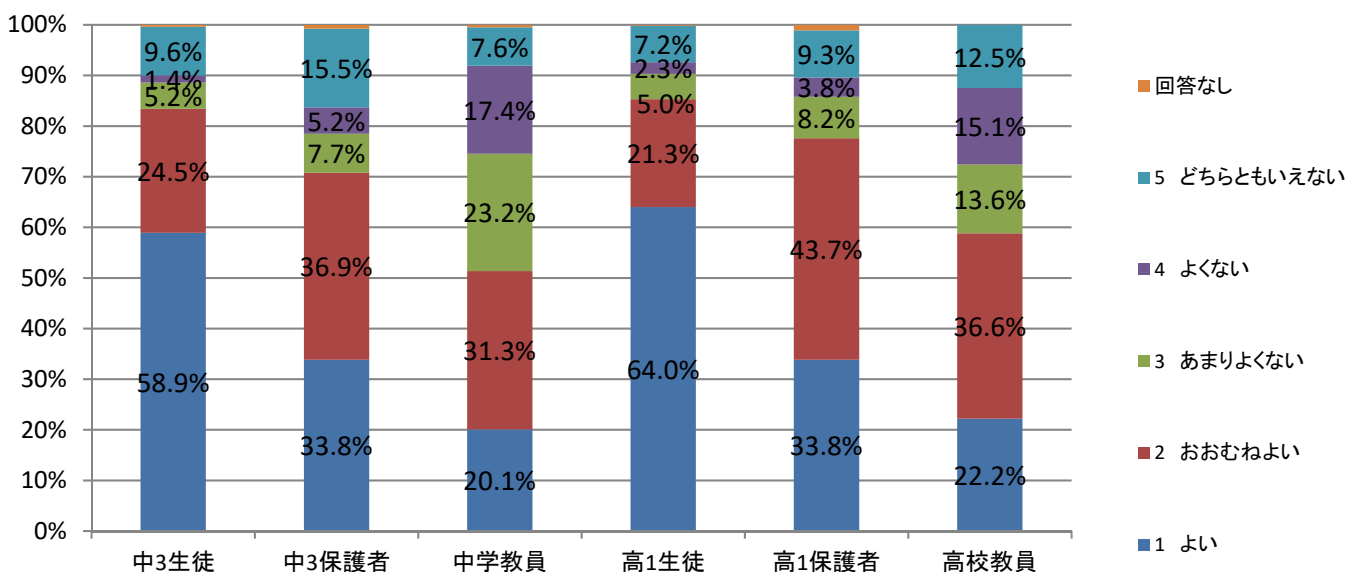
1 よい 2 おおむねよい 3 あまりよくない 4 よくない 5 どちらともいえない



【回答数:4781】

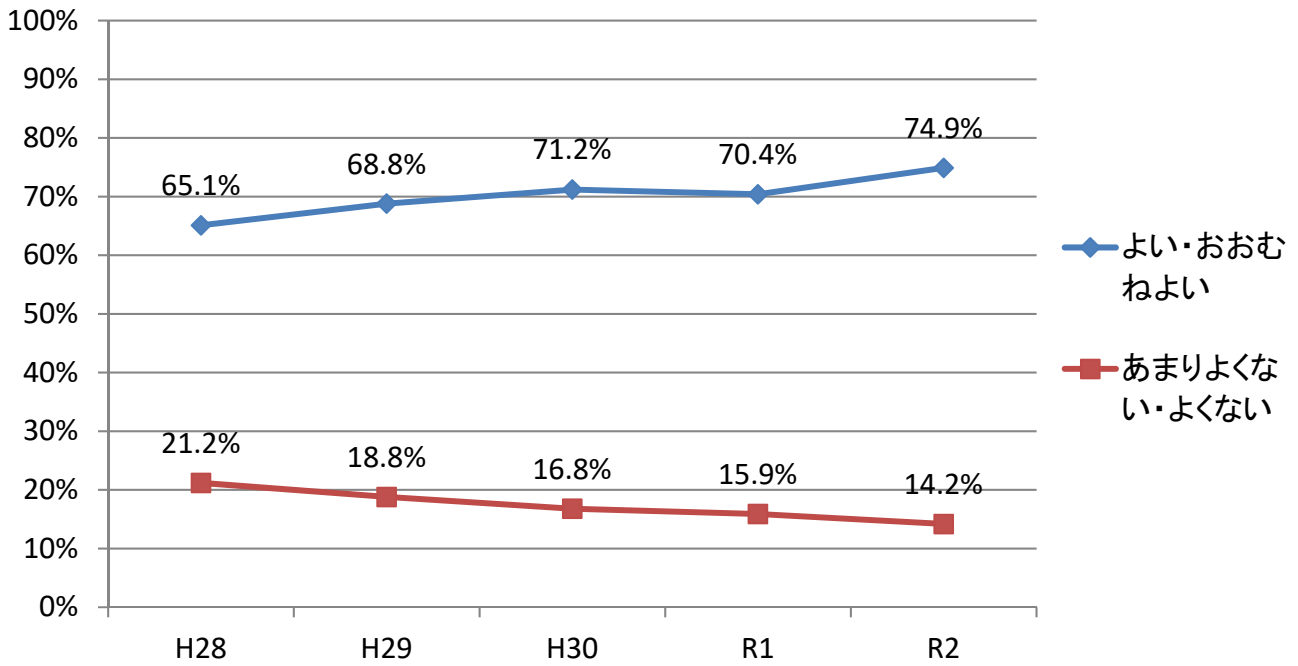
前期募集を評価する回答74.9%、評価しない回答が14.2%である。

●調査対象者別



調査対象者別では、中学教員と高校教員で前期募集を評価しない回答が、相対的に高い。

●前期募集評価の推移



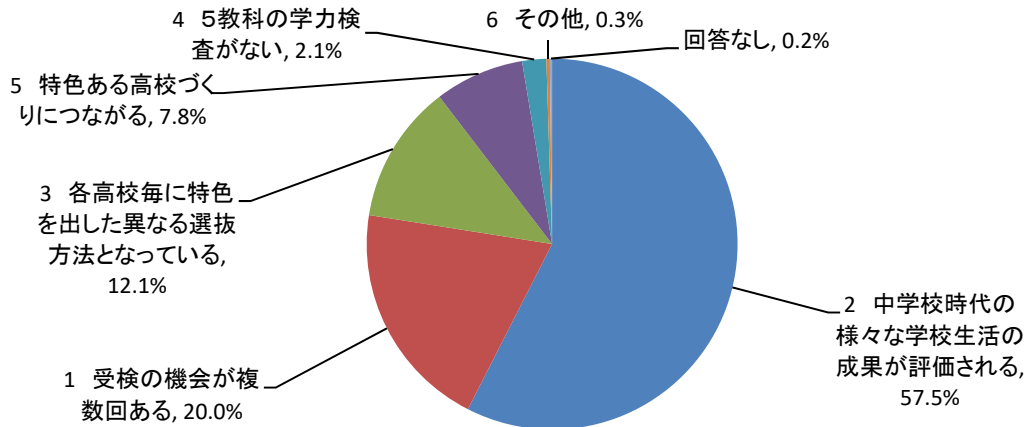
過去5年間の調査結果の推移によると、前期募集を評価する回答の割合が上昇し、評価しない回答が下降している。

② 前期募集を評価する理由

【前期募集に肯定的な評価をした者】

(質問) 前期募集制度を「1 よい」又は「2 おおむねよい」と答えた方にお聞きます。どのような部分が評価できると思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

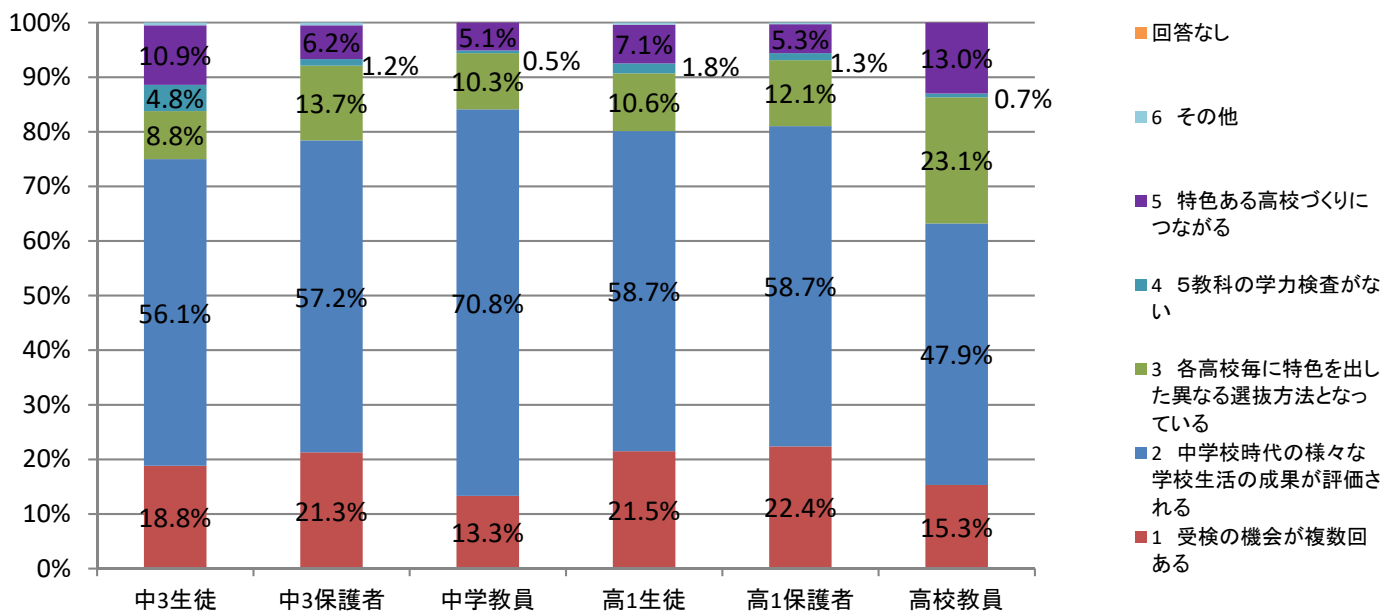
- 1 受検の機会が複数回ある
- 2 中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される
- 3 各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている
- 4 5教科の学力検査がない
- 5 特色ある高校づくりにつながる
- 6 その他



【回答数:3578】

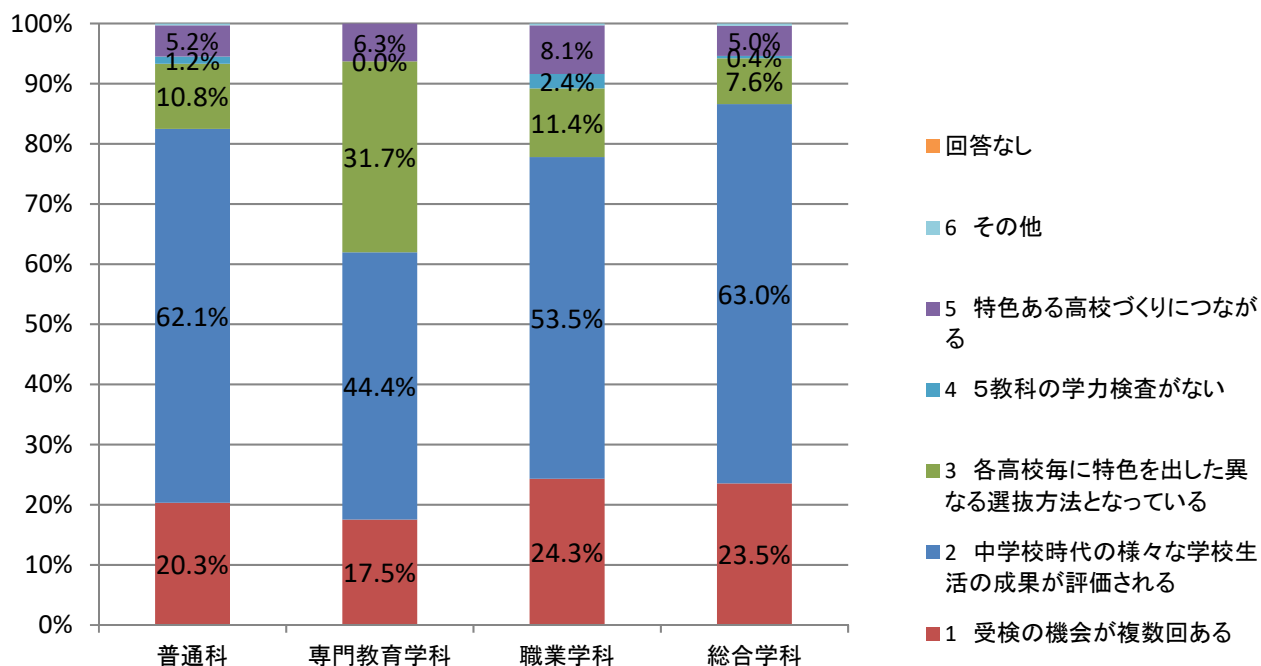
前期募集は主に「中学校時代の学校生活の成果が評価される」点において評価されている。

● 調査対象者別



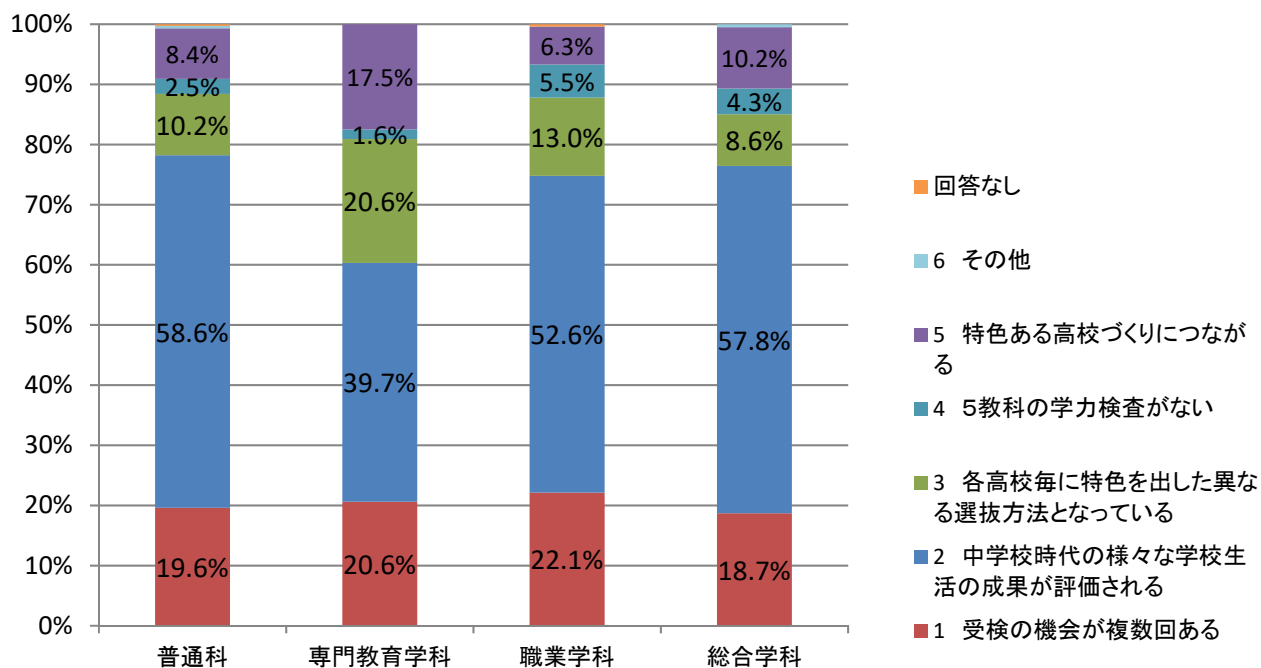
調査対象者別では、中学教員で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」の回答率が高い。また、高校教員では「各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」「特色ある高校づくりにつながる」の回答率が他の調査対象者より高い。

●学科別(高1)



高1生徒が在籍する学科別では、専門教育学科で「各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」が他の学科在籍者よりも多い。

●学科別(中3)



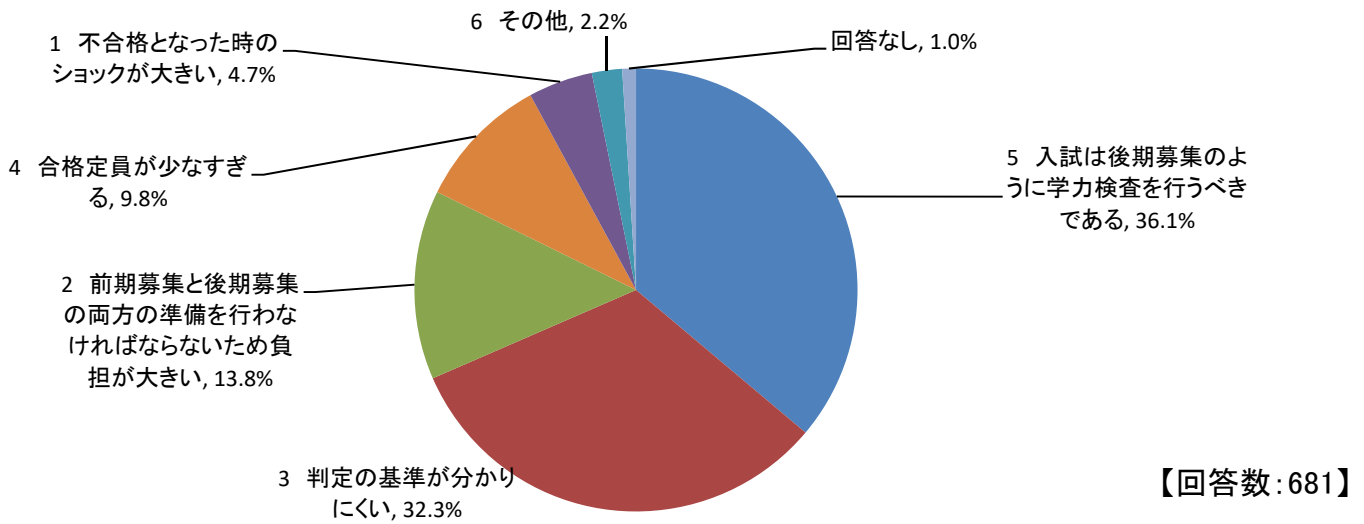
中3生徒が希望する学科別では、専門教育学科希望者で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」が他の学科希望者より少なく、「各学校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」「特色ある学校づくりにつながる」が多い。

③ 前期募集を評価しない理由

【前期募集を否定的に評価した者】

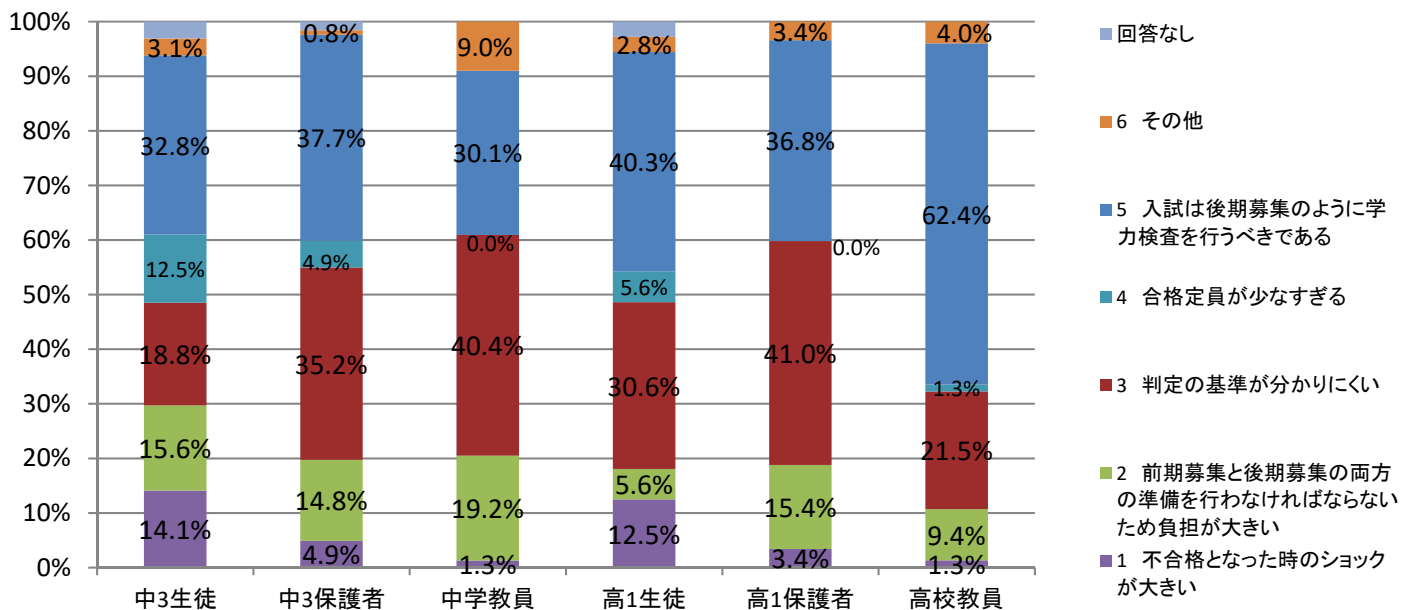
(質問) 前期募集制度を「3 あまりよくない」又は「4 よくない」と答えた方にお聞きます。どのような部分が評価できないと思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 不合格となった時のショックが大きい
- 2 前期募集と後期募集の両方の準備を行わなければならないため負担が大きい
- 3 判定の基準が分かりにくい
- 4 合格定員が少なすぎる
- 5 入試は後期募集のように学力検査を行うべきである
- 6 その他



前期募集を評価しない主な理由は、「学力検査を行うべき」「判定の基準が分かりにくい」点である。より透明性の高い検査制度とするよう努める必要がある。

● 調査対象者別



中3生徒では、「学力検査を行うべき」が3割程度だが、「不合格となった時のショックが大きい」「前期・後期の両方の準備が負担が大きい」「合格定員が少なすぎる」もそれぞれ10%台となっている。

中3保護者、中学教員、高1生徒、高1保護者では「判定の基準が分かりにくい」「学力検査を行うべき」が多く、二極化している。高校教員では「学力検査を行うべき」が半数以上を占める。

④ 前期募集への出願

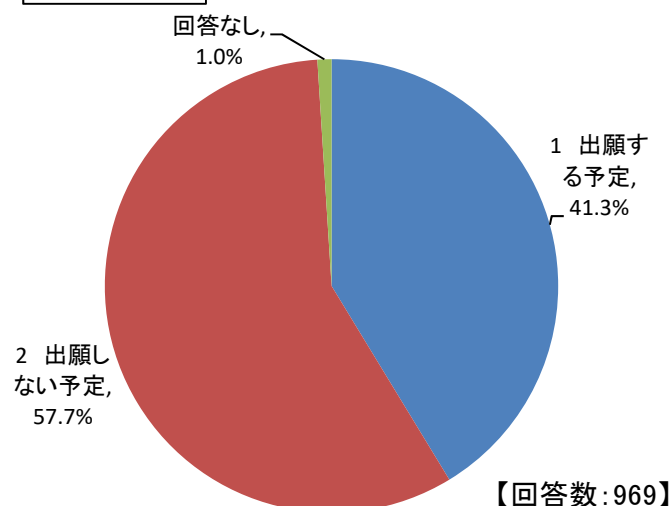
【中3生徒、高1生徒】

(質問) 前期募集に出願しますか？／前期募集に出願しましたか？

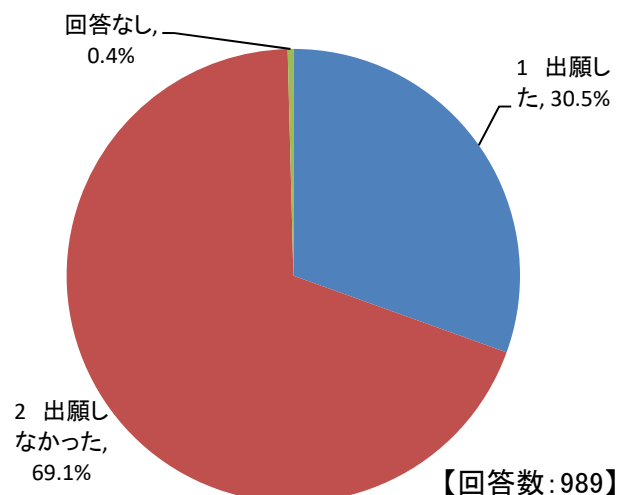
(次の中から1つ選んでください。)

1 出願した／出願する予定 2 出願しなかった／出願しない予定

中3生徒

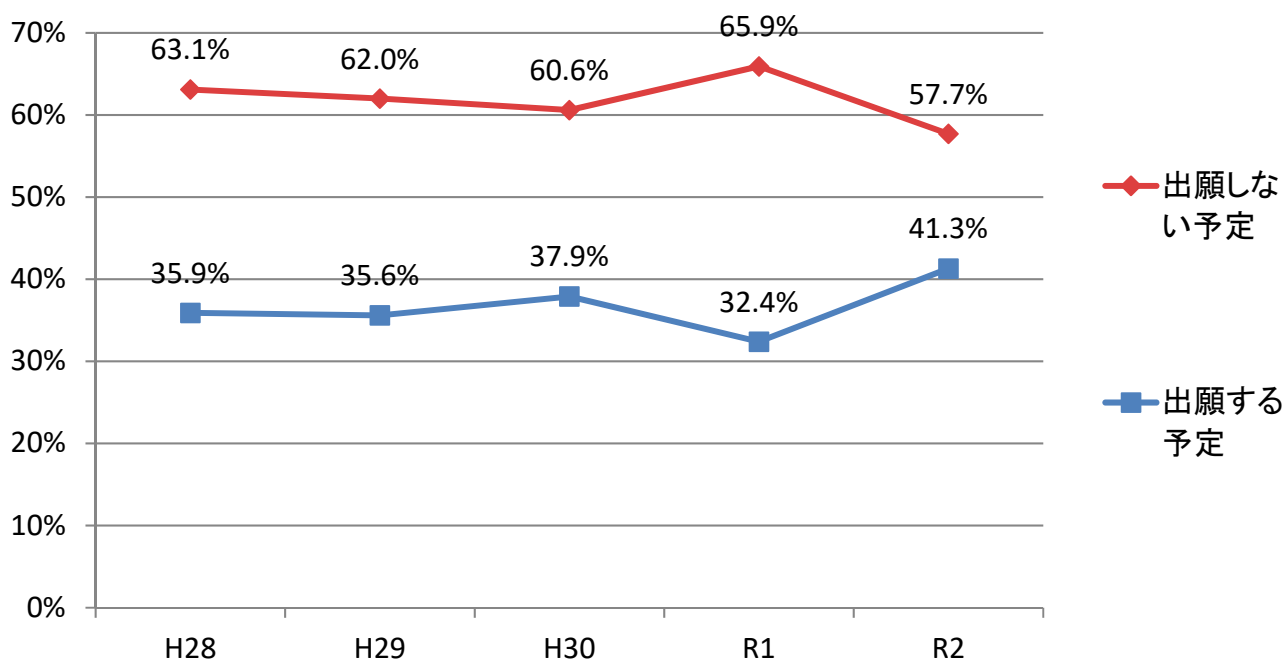


高1生徒



前期募集の出願する予定の中学3年生は41.3%、出願した高校1年生の割合は30.5%である。「複数の受検機会」が前期募集導入の目的の一つであるため、より志願しやすい制度としていく必要がある。

●中3生徒の前期募集出願予定の推移



過去5年間の調査結果の推移によると、「出願予定」はR1で減少したものの、R2では揺り戻しとなった。

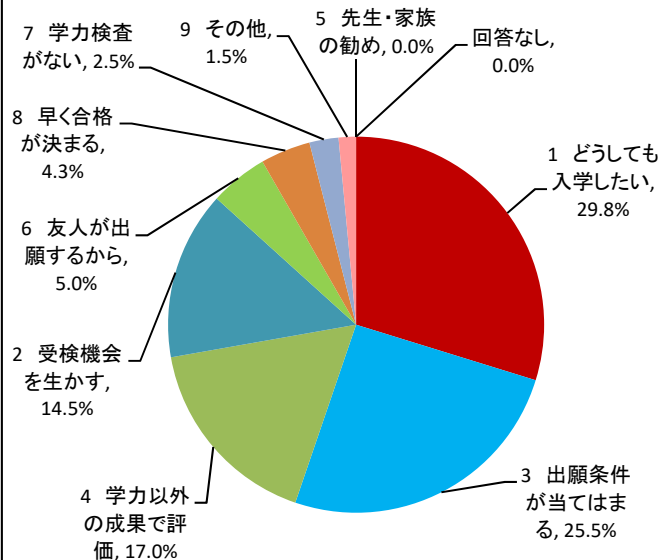
⑤ 前期募集の出願理由

【前期募集に出願する/
した中3生徒・高1生徒】

(質問) 前期募集に出願する(した)理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

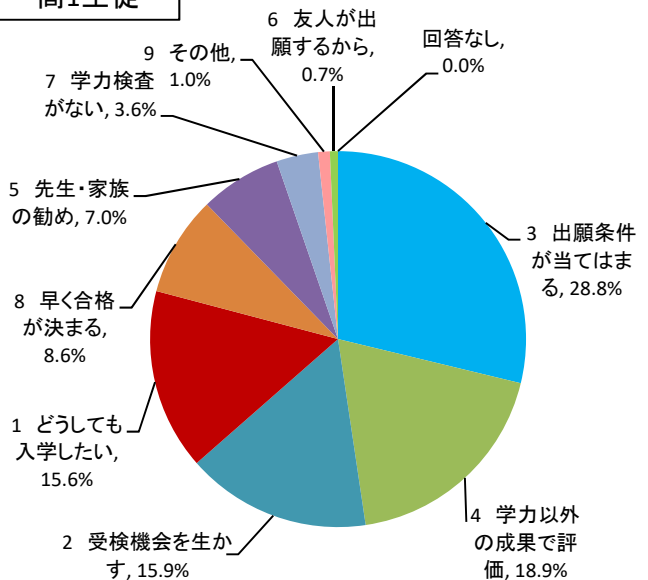
- | | |
|--|---------------------|
| 1 どうしても入学したい学校・学科(コース)だから | 2 受検機会を最大限生かそうと思うから |
| 3 入学したい高校の「出願条件」などが当てはまり、得意なことが活かせると思うから | |
| 4 学力以外の成果が評価されるから | 5 先生や家族に勧められたから |
| 6 友人が出願するから | |
| 7 学力検査(5教科)がないから | 8 早く合格(内定)が決まるから |
| | 9 その他 |

中3生徒



【回答数:400】

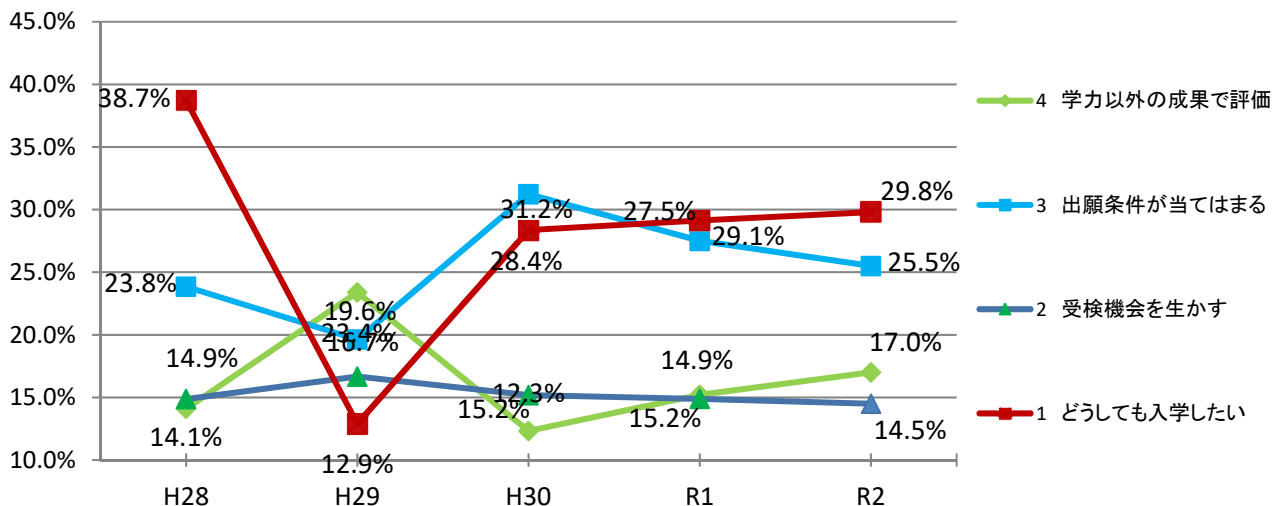
高1生徒



【回答数:302】

中3生徒では「どうしても入学したい」や「出願条件が当てはまる」ことが主な出願理由となっている。高1生徒では「出願条件が当てはまる」「学力以外の成果」「受検機会を生かす」が主な出願理由である。「出願の条件」は、共通して大きな要素の一つである。

●中3生徒の主な出願理由の推移



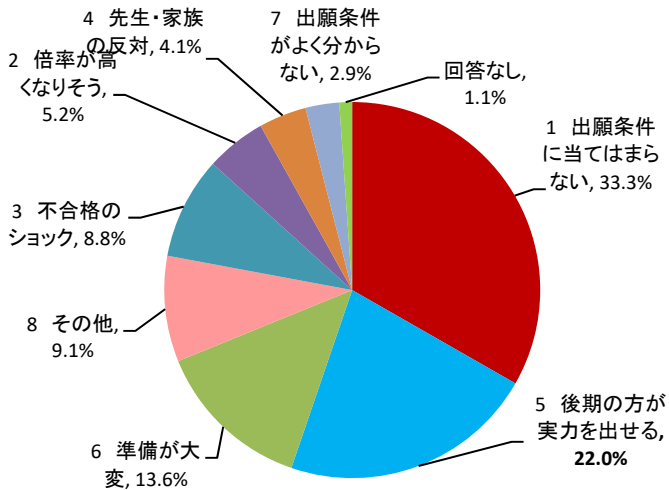
⑥ 前期募集の不出願理由

【前期募集に出願しない/
しなかった中3生徒・高1生徒】

(質問) 前期募集に出願しない(しなかった)理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

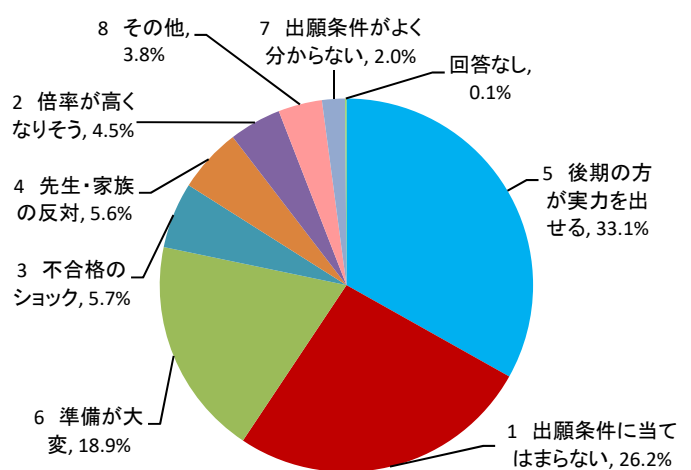
- 1 高校の「出願条件」などに当てはまらないと思うから
- 2 倍率が高くなりそうだと思うから
- 3 不合格になるとショックが大きいと思うから
- 4 先生や家族に反対されたから
- 5 後期募集(学力検査)の方が実力を出せると思うから
- 6 面接、特色適性検査などの準備が大変だと思うから
- 7 出願の条件がよく分からないから
- 8 その他

中3生徒



【回答数: 559】

高1生徒



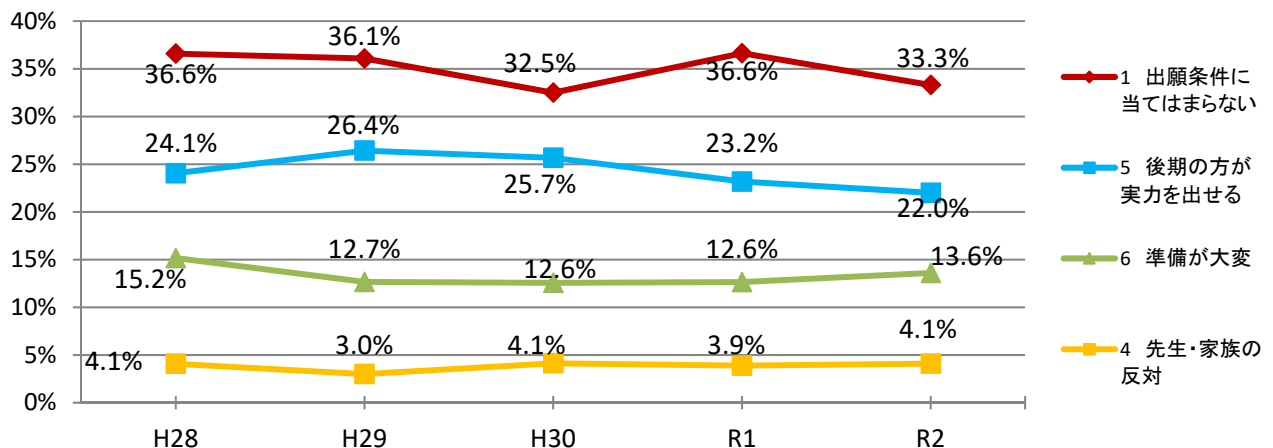
【回答数: 683】

中3生徒では「出願条件に当てはまらない」「後期の方が実力を出せる」「準備が大変」という点が出願しない主な理由となっている。

高1生徒では「後期の方が実力を出せる」「出願条件に当てはまらない」「準備が大変」という点が出願しなかった主な理由であり、中3生徒とおおむね同じ傾向である。

中3生徒の「その他」は、私立高校志望、通信制志望など。

●中3生徒の主な出願しない理由の推移



※ H29年調査より選択肢を1項目追加

3 学校選択・高校生活等について

生徒の学校選択や学校選択等について、考え方を尋ねた。

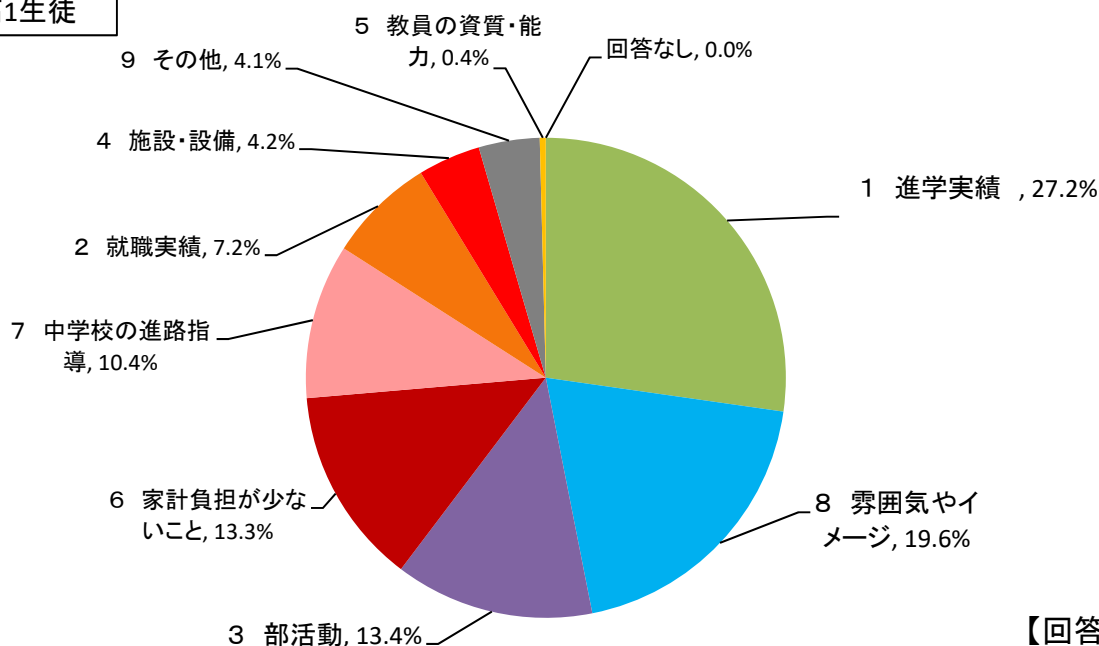
① 公立高校選択の理由

【高1生徒・保護者】

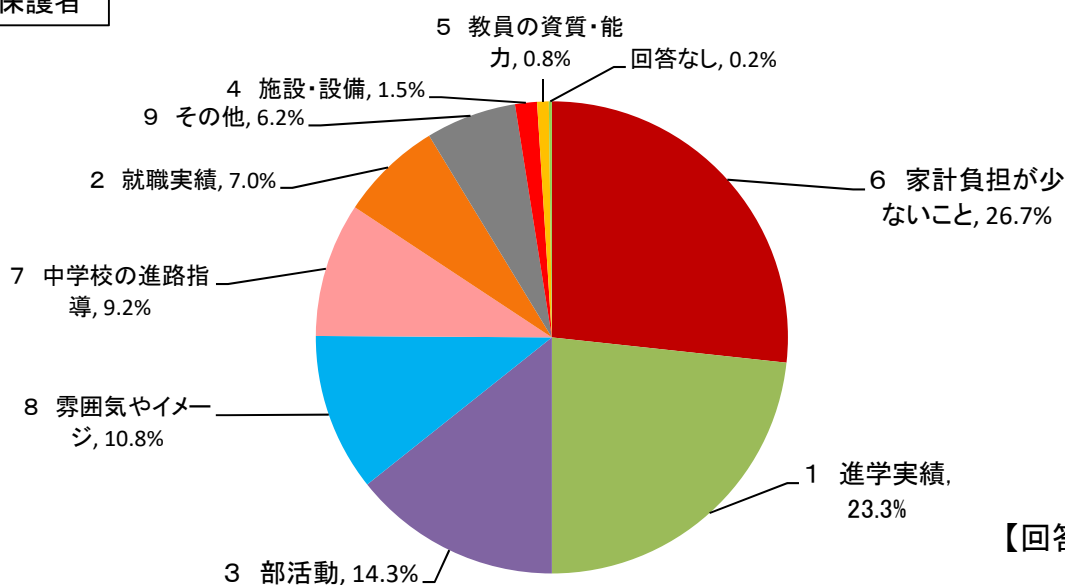
(質問) あなた(あなたのお子様)が公立高校を選んだ理由はなんですか？(次の中から1つで選んでください。)

- 1 進学実績 2 就職実績 3 部活動 4 施設・設備 5 教員の資質・能力
- 6 家計負担が少ないこと 7 中学校の進路指導 8 雰囲気やイメージ
- 9 その他

高1生徒



高1保護者



主要な理由としては、高1生徒では「進学実績」「雰囲気やイメージ」、保護者では「家計負担が少ないこと」「進学実績」の割合が高い。

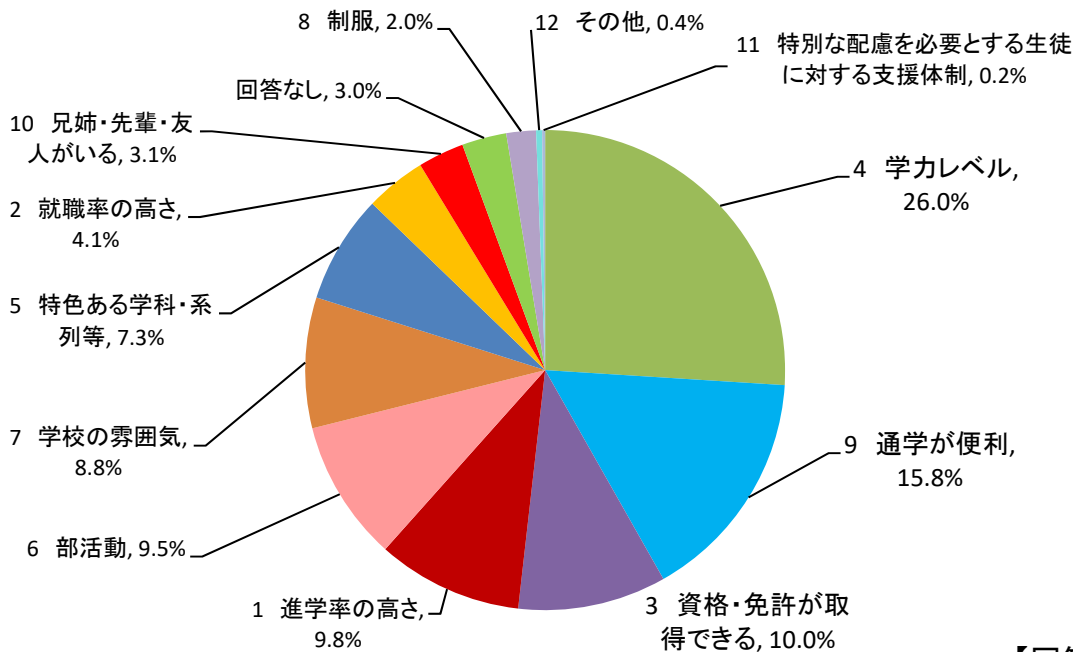
② 学校選択の理由

【中3生徒・保護者
高1生徒・保護者】

(質問) あなた(あなたのお子様)が高校を選ぶとき、何に重きを置きましたか？(次の中から2つ以内で選んでください)

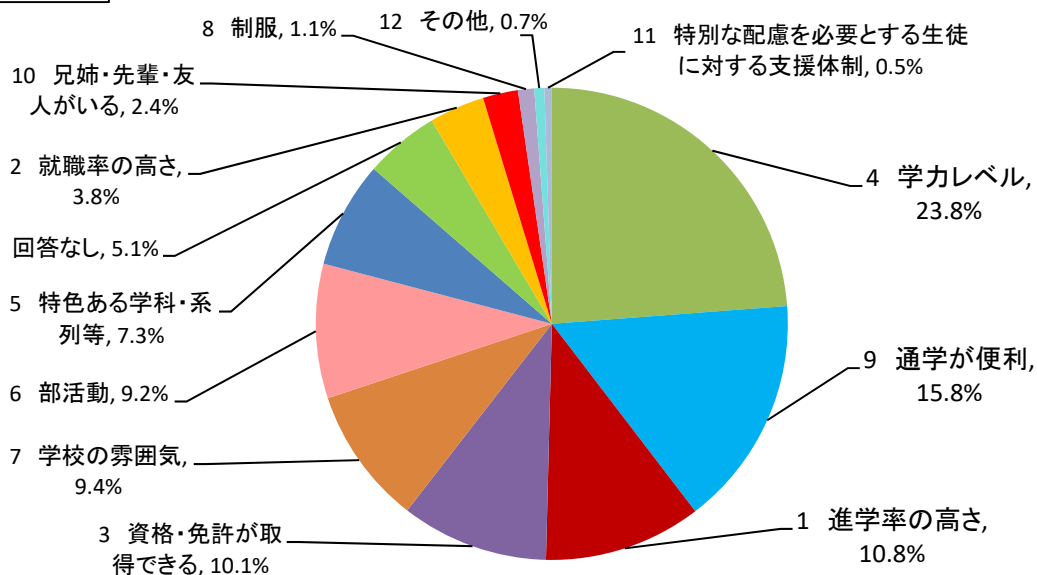
- 1 進学率の高さ 2 就職率の高さ 3 資格・免許が取得できる 4 学力レベル
5 特色ある学科・系列等 6 部活動 7 学校の雰囲気 8 制服 9 通学が便利
10 兄弟・先輩・友人がいる 11 特別な配慮を必要とする生徒に対する支援体制 12 その他

高1生徒



【回答数:989】

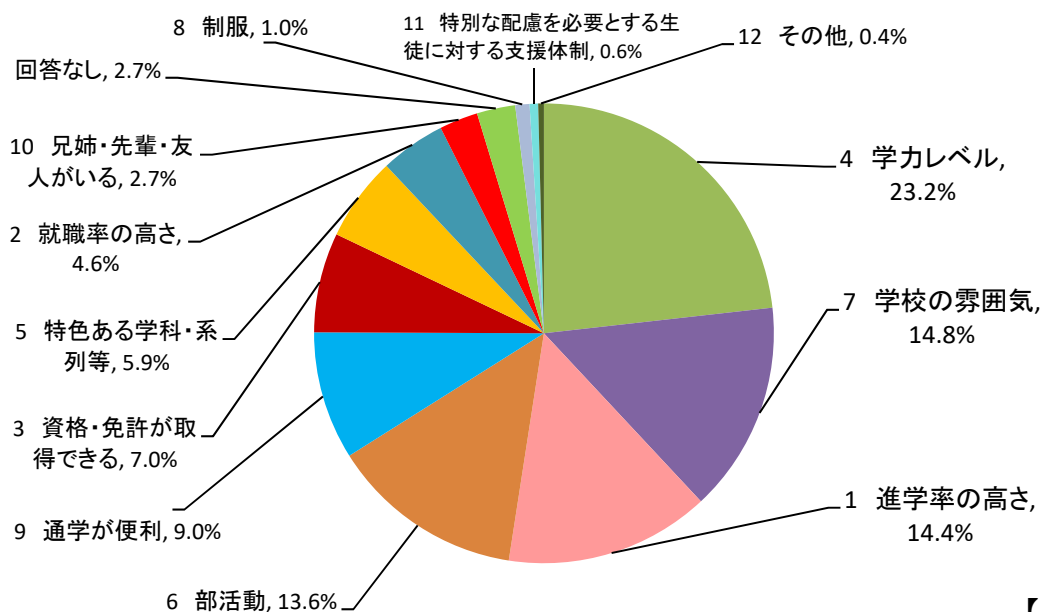
高1保護者



【回答数:974】

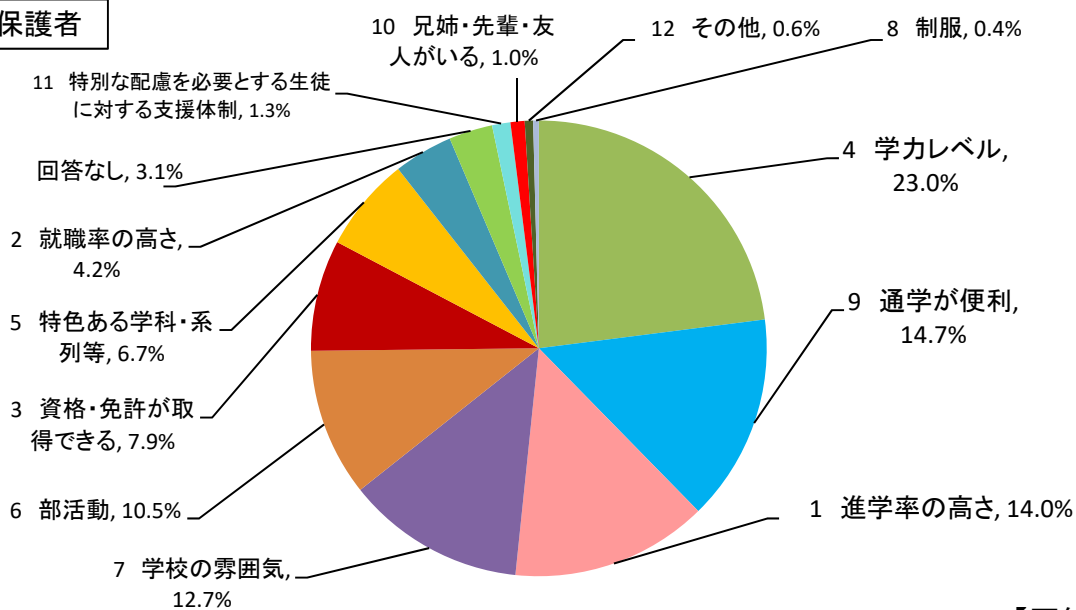
高1生徒及び保護者では、「学力レベル」「通学が便利」が共通した主要な理由である。

中3生徒



【回答数:969】

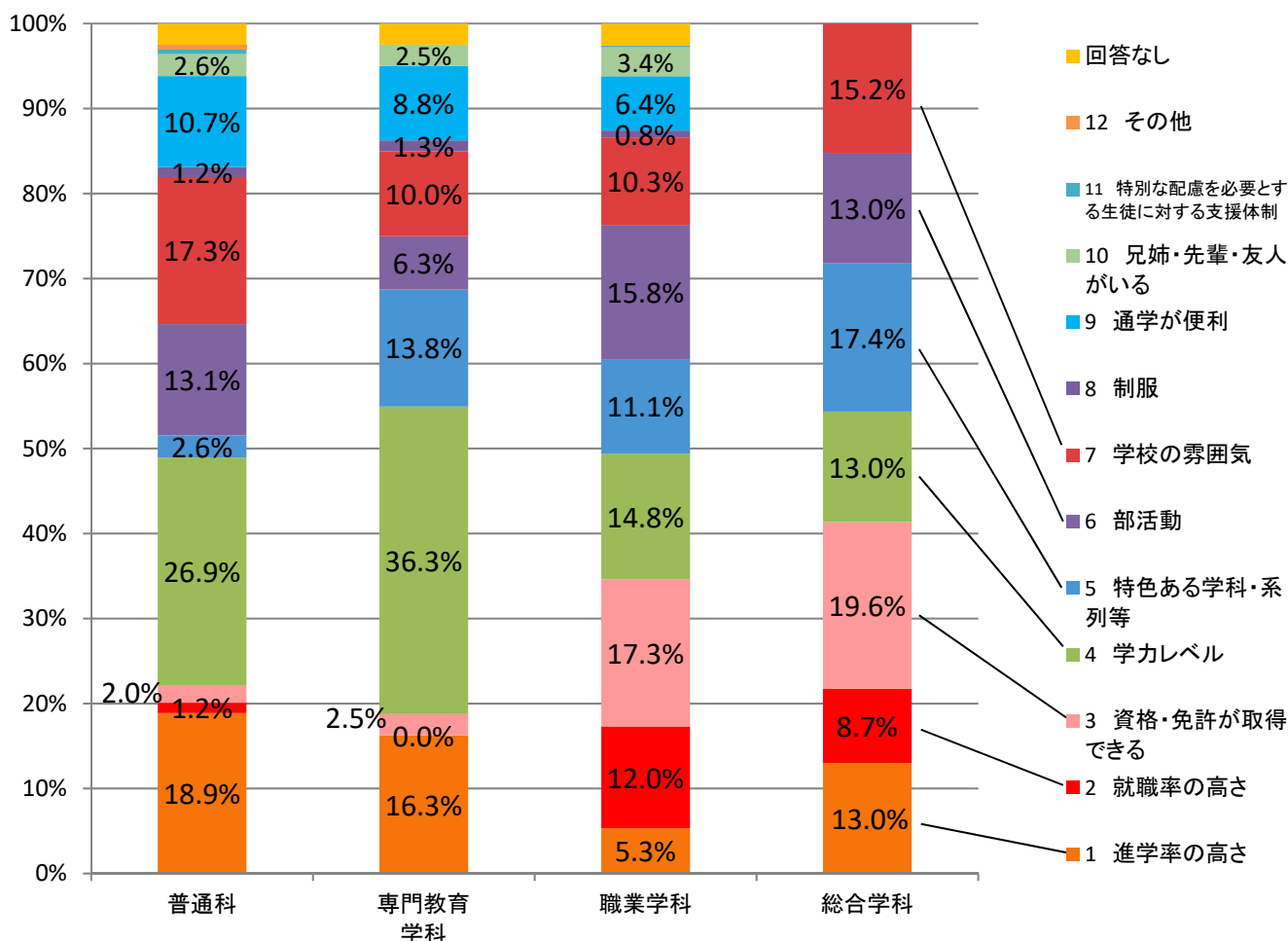
中3保護者



【回答数:943】

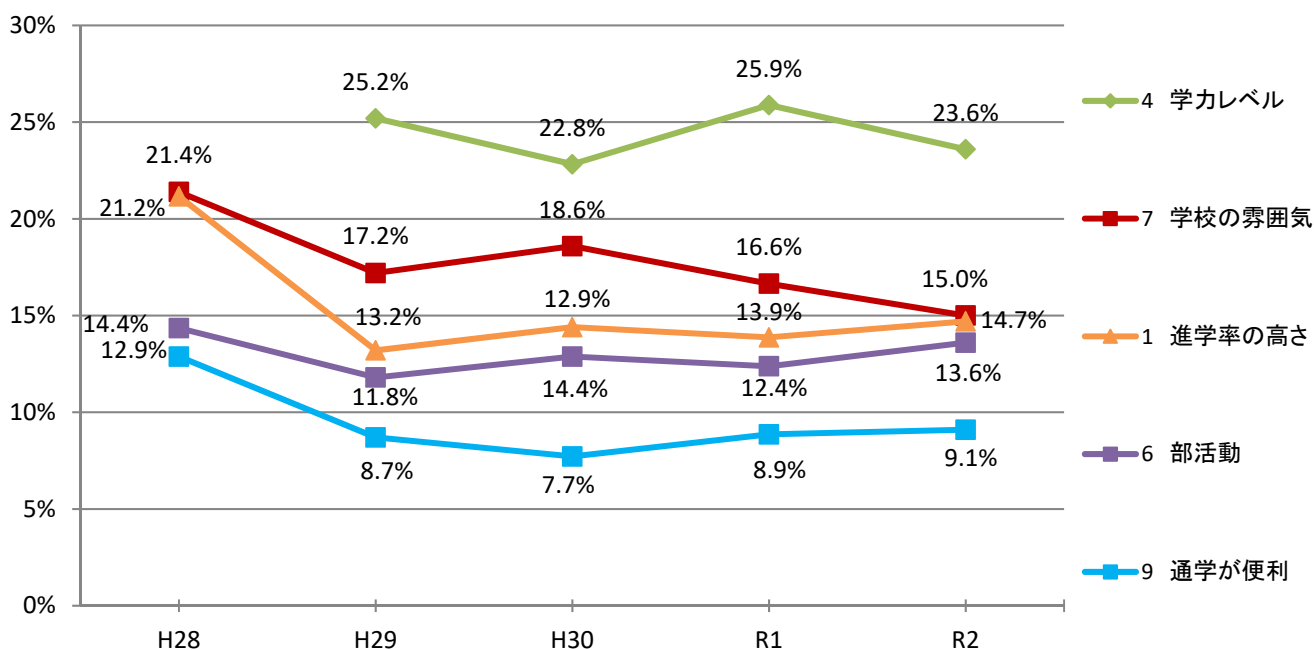
中3生徒及び保護者では、「学力レベル」「学校の雰囲気」が共通して主要な理由である。保護者では、通学の便も、学校選択の大きな要素となっている。

●中3生徒の希望学科別の学校選択理由



普通科・専門教育学科では「学力レベル」「進学率の高さ」、職業学科では「資格・免許が取得できる」「部活動」、総合学科では「資格・免許が取得できる」「特色ある学科・系列等」の回答が多い。

●中3生徒の学校選択の主な理由の推移（H28～R2調査）



※ H29年度調査より、選択肢に2項目（「学力レベル」「制服」）を追加した。

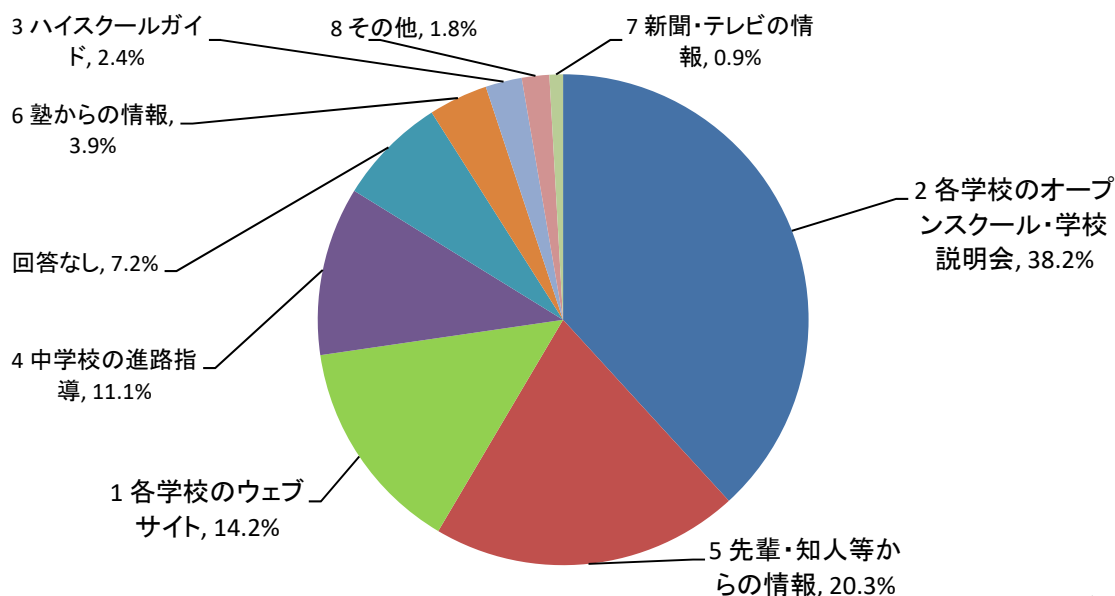
③ 学校選びの参考

【中3生徒、高1生徒】

(質問) あなたが高校を選ぶとき、何を参考にしましたか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

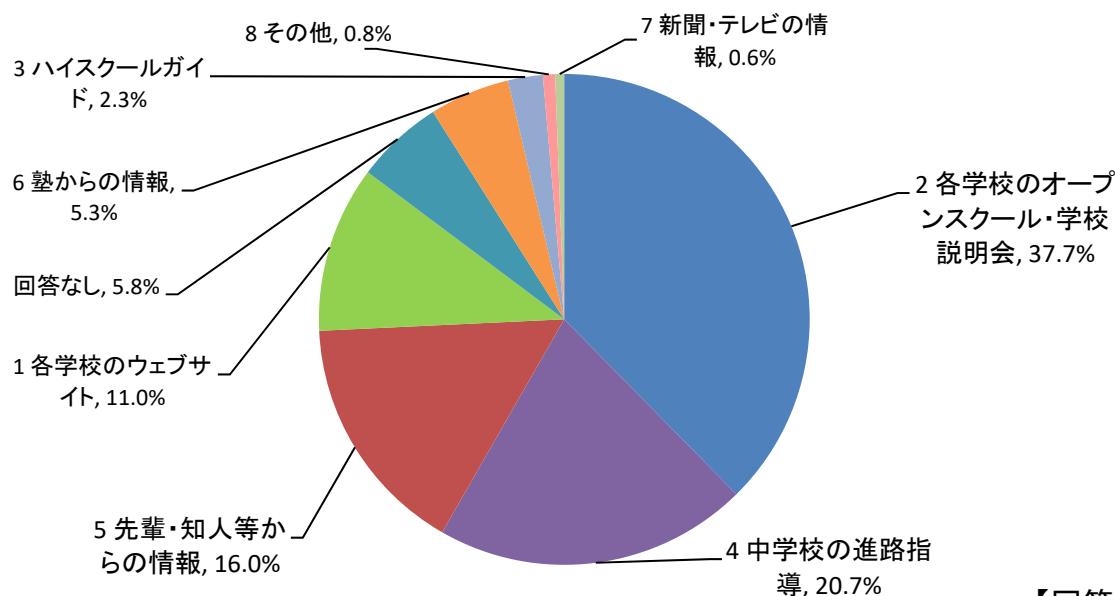
- 1 各学校のウェブサイト 2 各学校のオープンスクール・学校説明会 3 ハイスクールガイド
4 中学校の進路指導 5 先輩・知人等からの情報 6 塾からの情報 7 新聞・テレビの情報
8 その他

中3生徒



【回答数:969】

高1生徒



【回答数:989】

中3生徒及び高1生徒に共通して「各学校のオープンスクール・学校説明会」「先輩・知人等からの情報」「中学校の進路指導」が主要な回答となっている。特に、オープンスクール等は、生徒の進路選択への影響が大きいと考えられる。

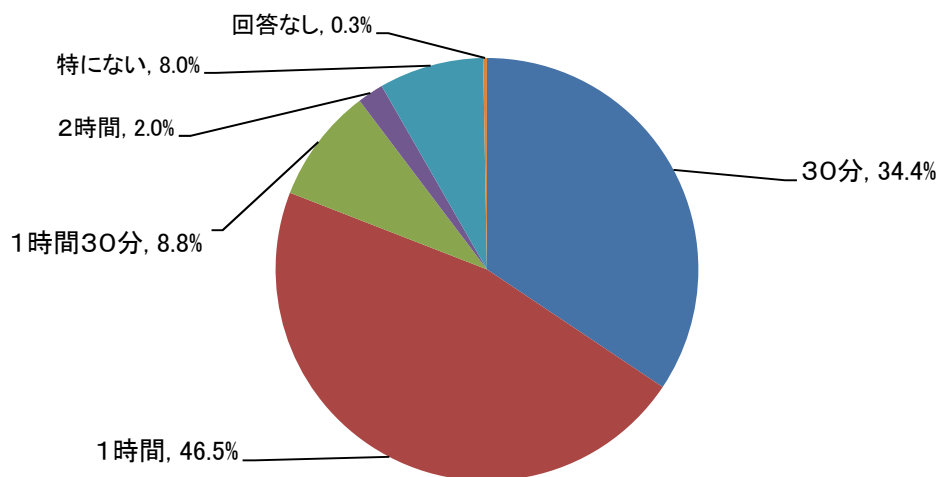
④ 生徒の通学時間

【中3生徒・保護者、高1生徒】

(質問) 通う(通わせる)場合、通学にかかる片道の時間の限界は、どのぐらいと考えますか？(次の中から1つ選んでください。)

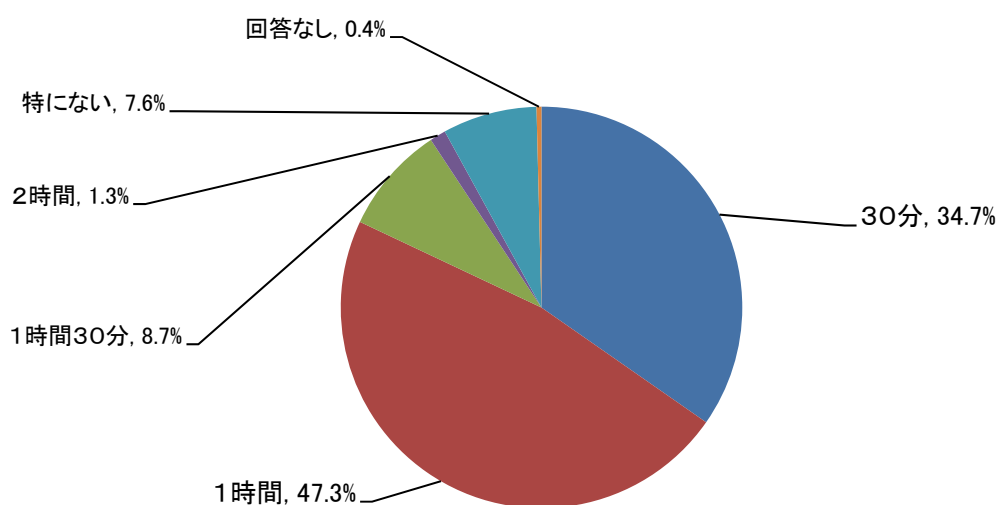
1 30分 2 1時間 3 1時間30分 4 2時間 5 特にない

中3生徒



【回答数:969】

中3保護者



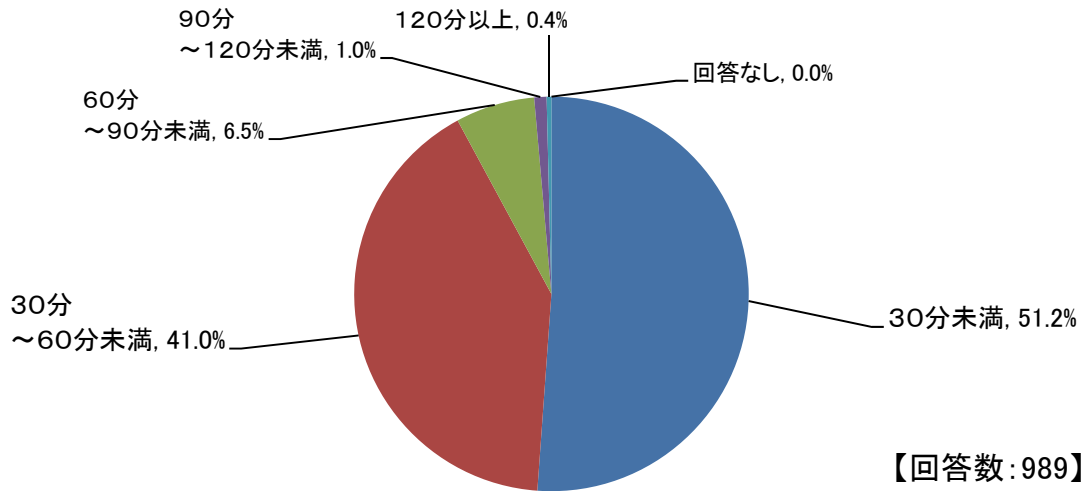
【回答数:943】

通学時間の限界として、中3生徒・中3保護者とも1時間までの回答が約8割であり、ほぼ同じ傾向を示している。

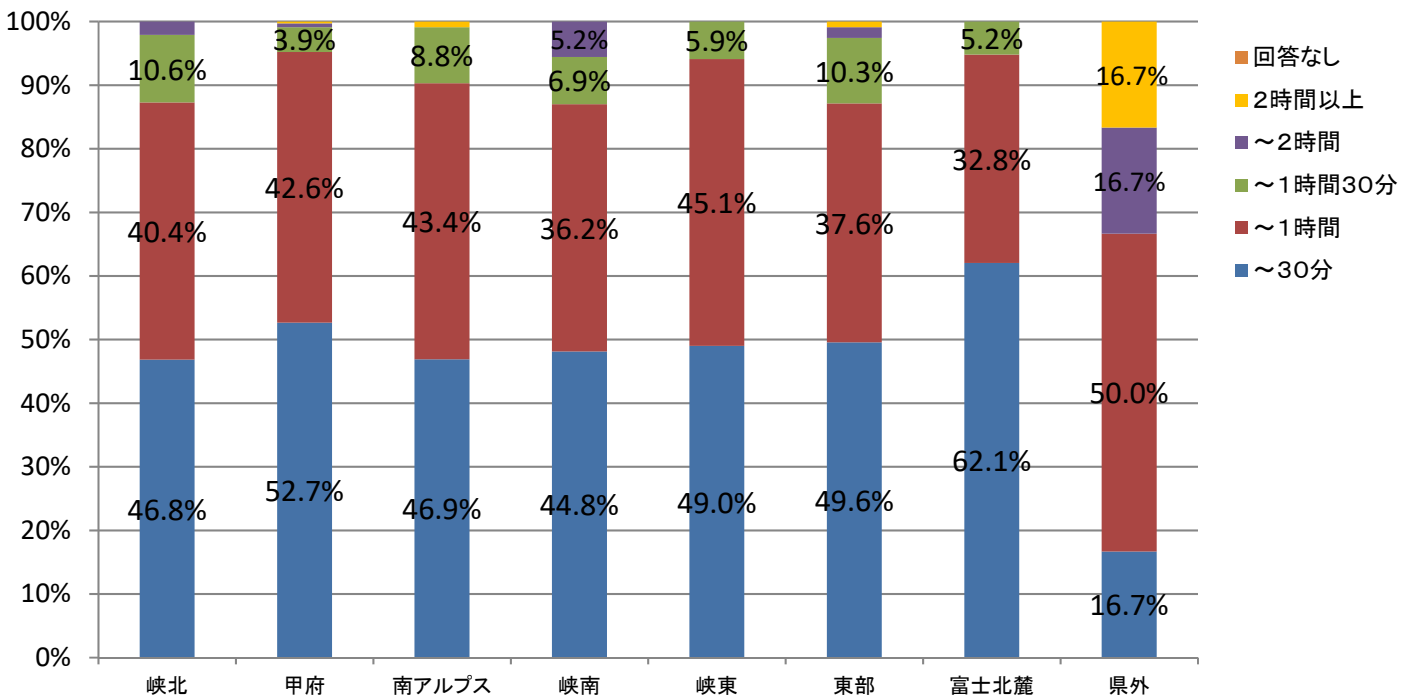
(質問) 現在の通学時間は片道どのくらいかかりますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 30分未満 2 30分～60分未満 3 60分～90分未満
4 90分～120分未満 5 120分以上

高1生徒



●居住地別の通学時間



高1生徒の通学時間では、1時間までの生徒が約9割と大半を占める。

地域別では、甲府地域、富士北麓地域では「30分以内」の回答が比較的多い。

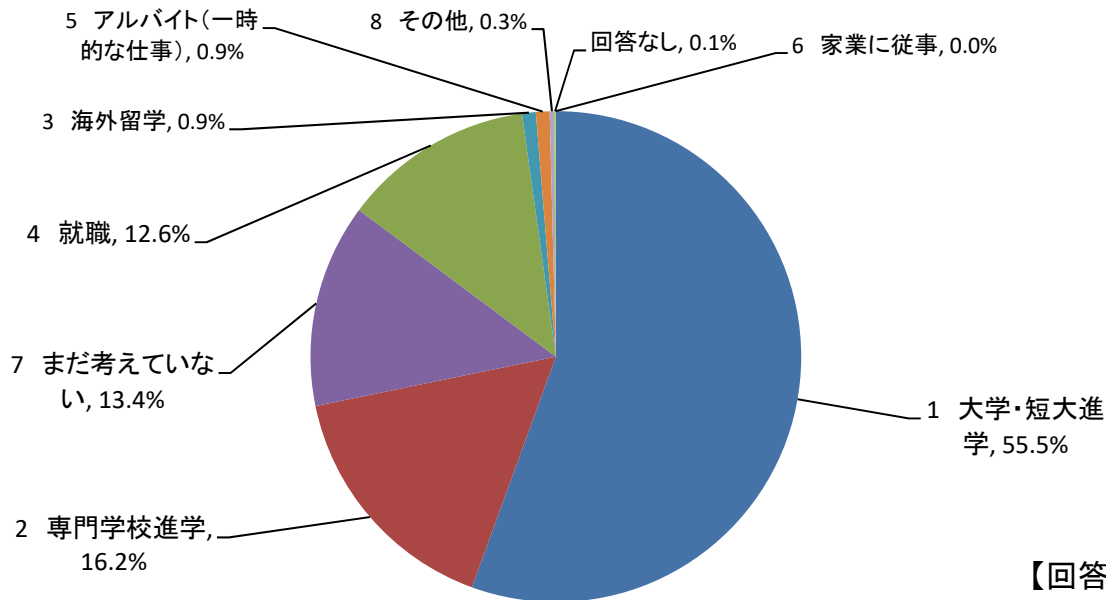
⑤ 高校卒業後の希望

【中3生徒】

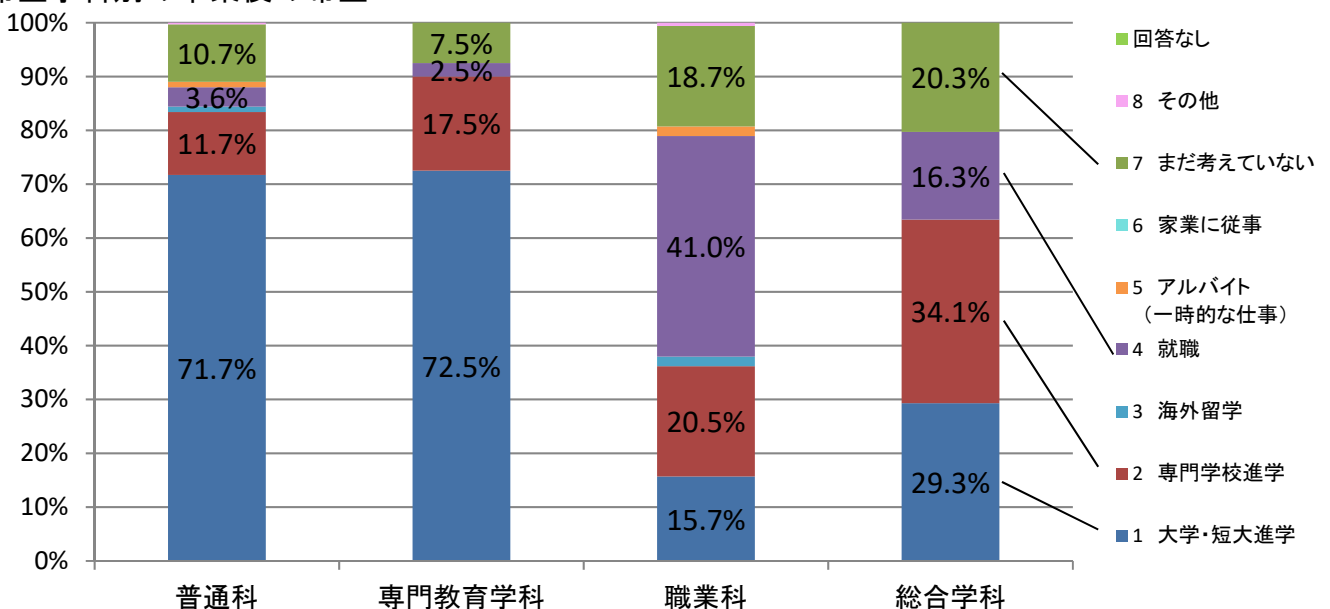
(質問) あなたは、高校卒業後、どのような進路を考えていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 大学・短大進学 2 専門学校進学 3 海外留学 4 就職
5 アルバイト(一時的な仕事) 6 家業に従事 7 まだ考えていない 8 その他

中3生徒



●希望学科別の卒業後の希望



中3生徒全体としては、「大学・短大進学」が過半数を占める。また、「まだ考えていない」生徒も13.4%と相当数回答している。

希望学科別では、職業科希望者では、「就職」希望に4割超の回答がある。また、総合学科希望者は、他の学科希望者より「専門学校進学」の回答が多い。

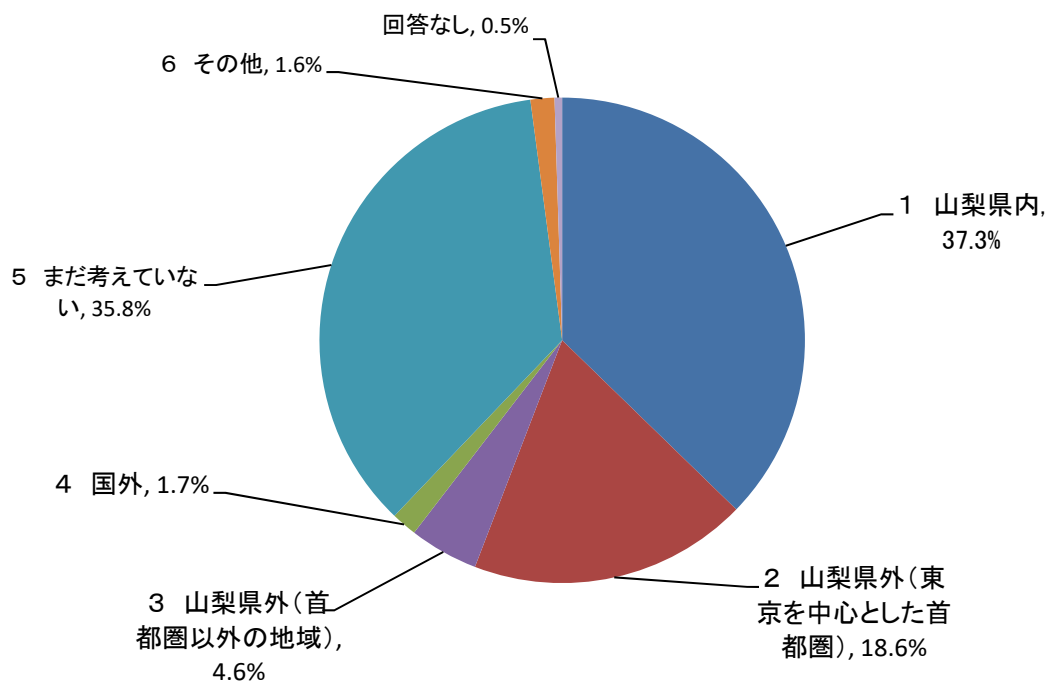
⑥ 高校卒業後・進学後の就職地の希望

【中3生徒・保護者、
高1生徒・保護者】

(質問) あなた(あなたのお子様)は、高校卒業後または高校卒業後進学した後に就職する場合、どこで仕事をしたいですか？(どこで仕事をして欲しいですか？)(次の中から1つ選んでください。)

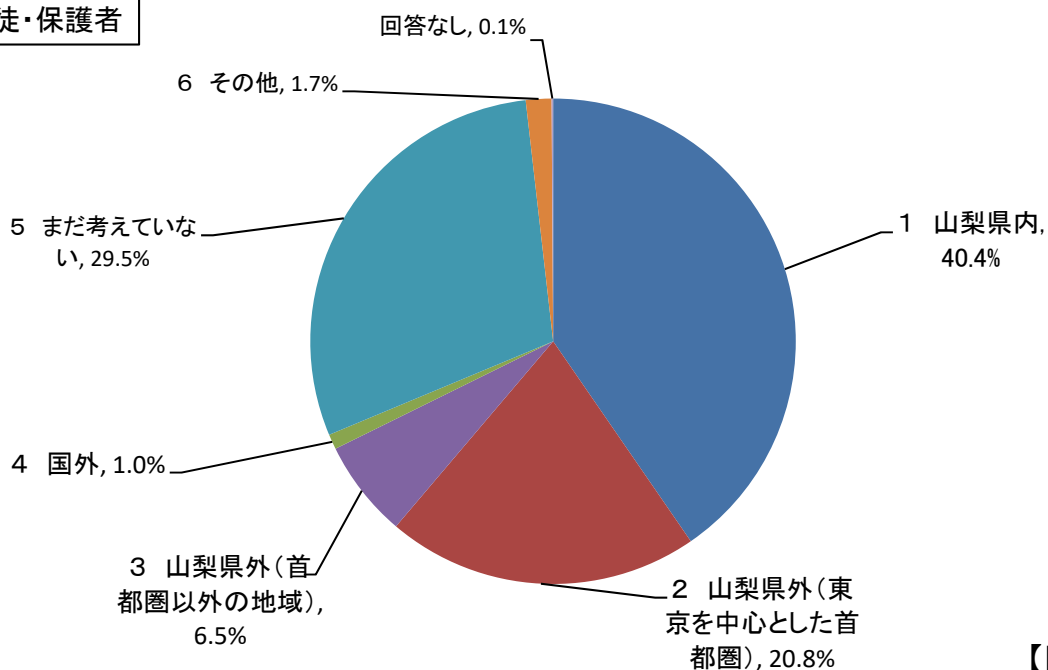
- 1 山梨県内 2 山梨県外(東京を中心とした首都圏) 3 山梨県外(首都圏以外の地域)
4 国外 5 まだ考えていない 6 その他

中3生徒・保護者



【回答数:969】

高1生徒・保護者



【回答数:989】

中3生徒・保護者では4割弱、高1生徒・保護者では4割超が、「山梨県内」と回答している。

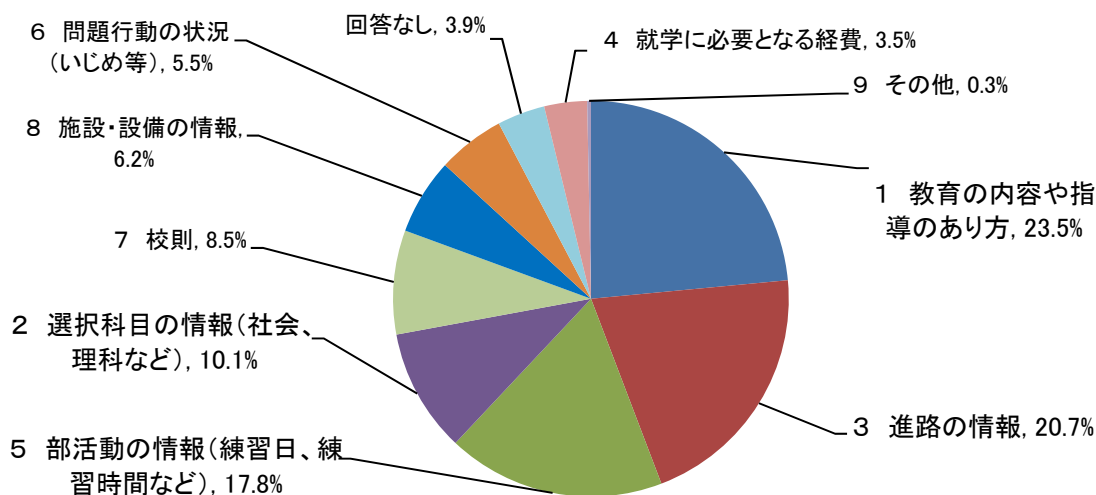
⑦ 高校に関して知りたい情報

【中3生徒・保護者】

(質問) 高校から提供される情報の中で、より知りたいと思う情報は何か？(次の中から2つ以内で選んでください。)

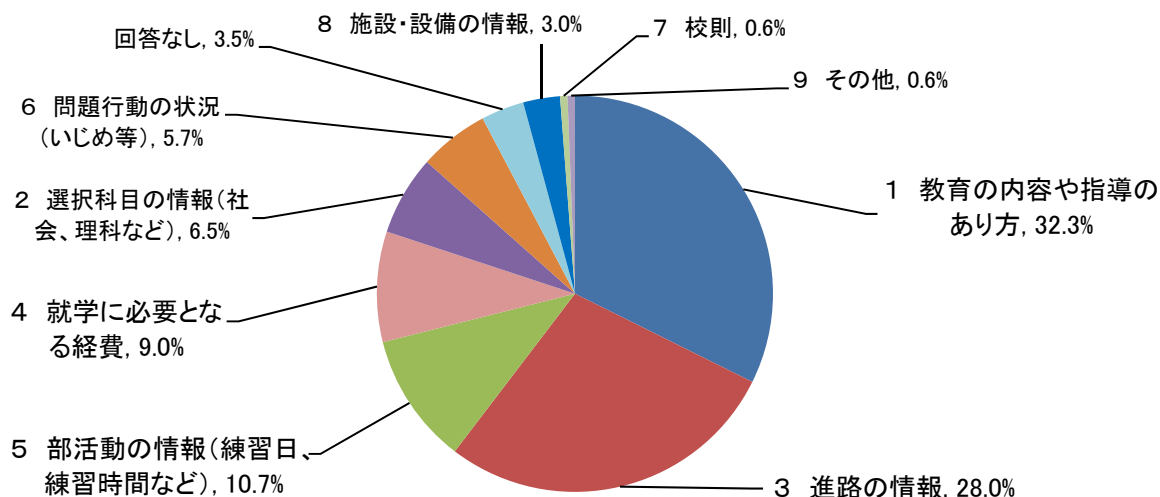
- 1 教育の内容や指導のあり方 2 選択科目の情報(社会、理科など) 3 進路の情報
4 就学に必要な経費 5 部活動の情報(練習日、練習時間など)
6 問題行動の状況(いじめ等) 7 校則 8 施設・設備の情報 9 その他

中3生徒



【回答数:969】

中3保護者



【回答数:943】

中3生徒・保護者ともに「教育の内容や指導のあり方」、「進路の情報」、「部活動の情報」が高校に関して最も知りたい情報である。次に、中3生徒では「選択科目の情報」、保護者では「就学に必要な経費」が関心のある情報である。

⑧ 高校の満足度

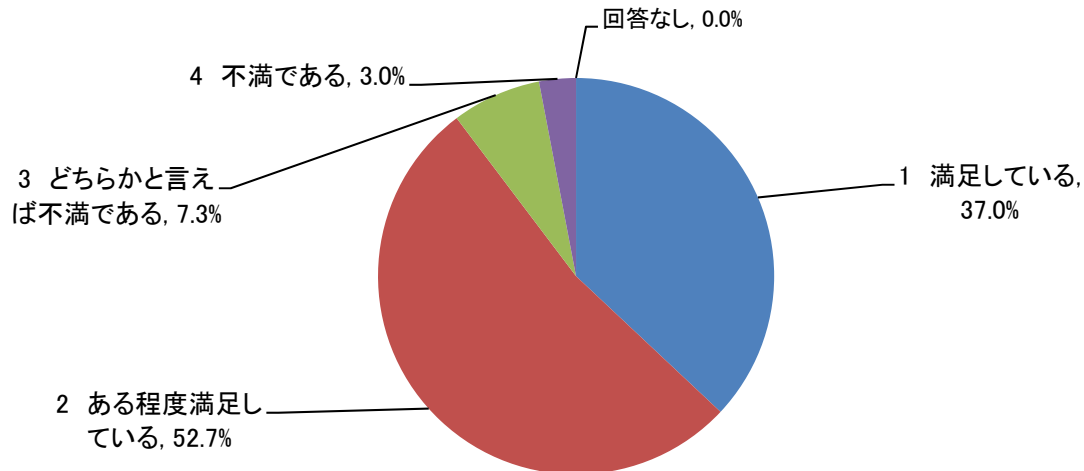
【高1生徒・保護者】

(質問) 在籍している高校について、満足していますか？

(次の中から1つ選んでください。)

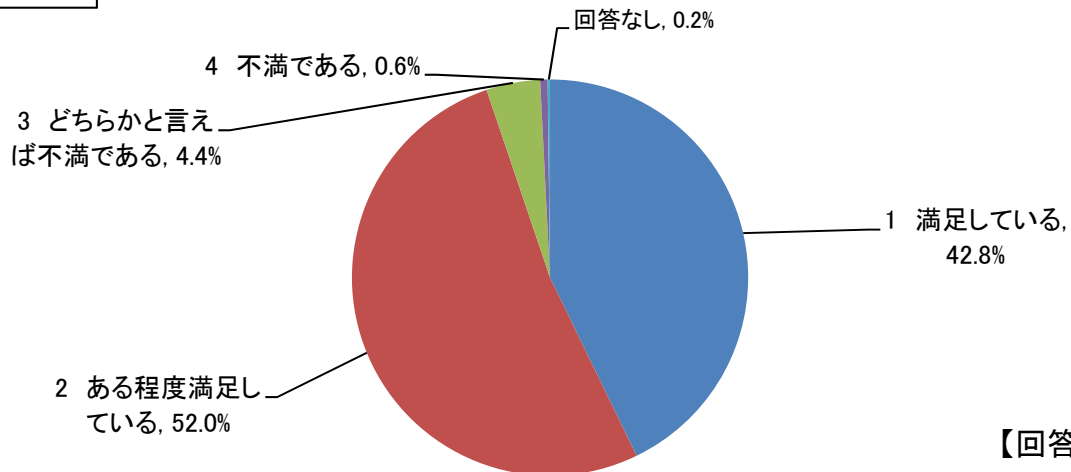
- 1 満足している 2 ある程度満足している 3 どちらかと言えば不満である 4 不満である

高1生徒



【回答数:989】

高1保護者

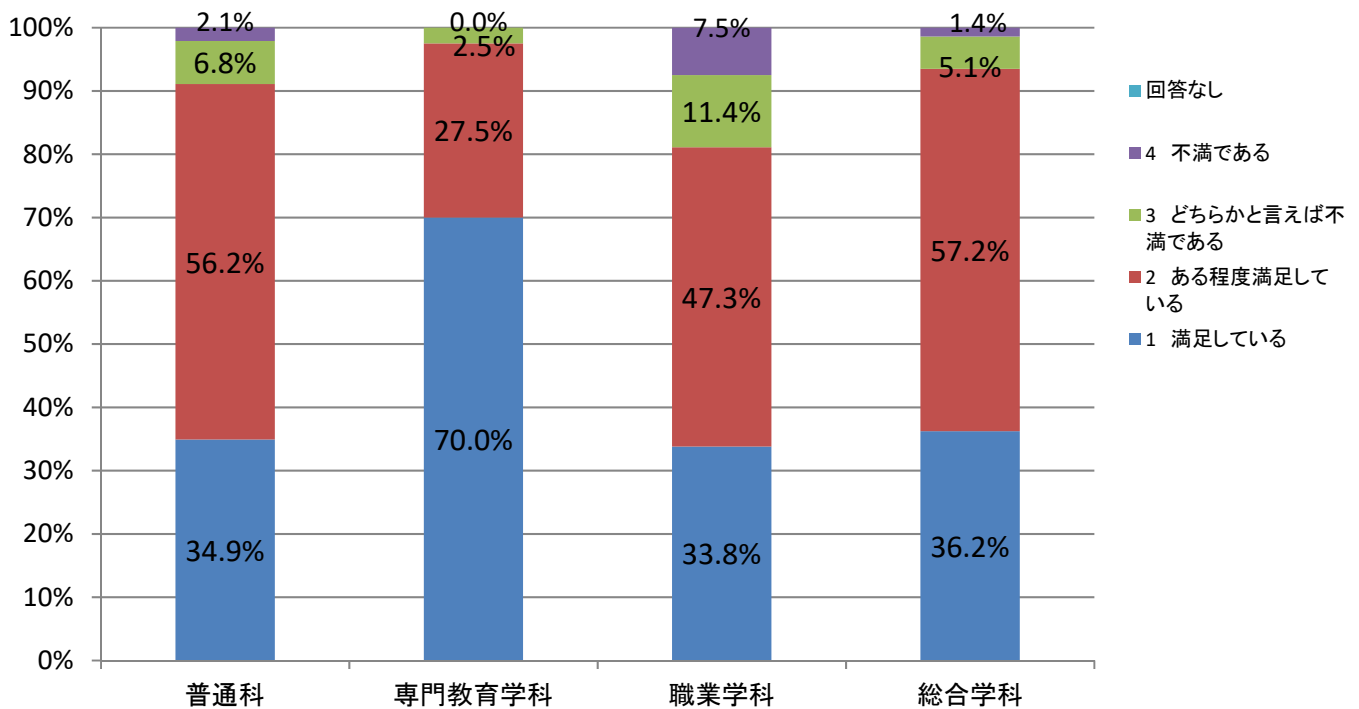


【回答数:974】

高1生徒及び保護者ともに、「満足している」「ある程度満足している」が約9割である。

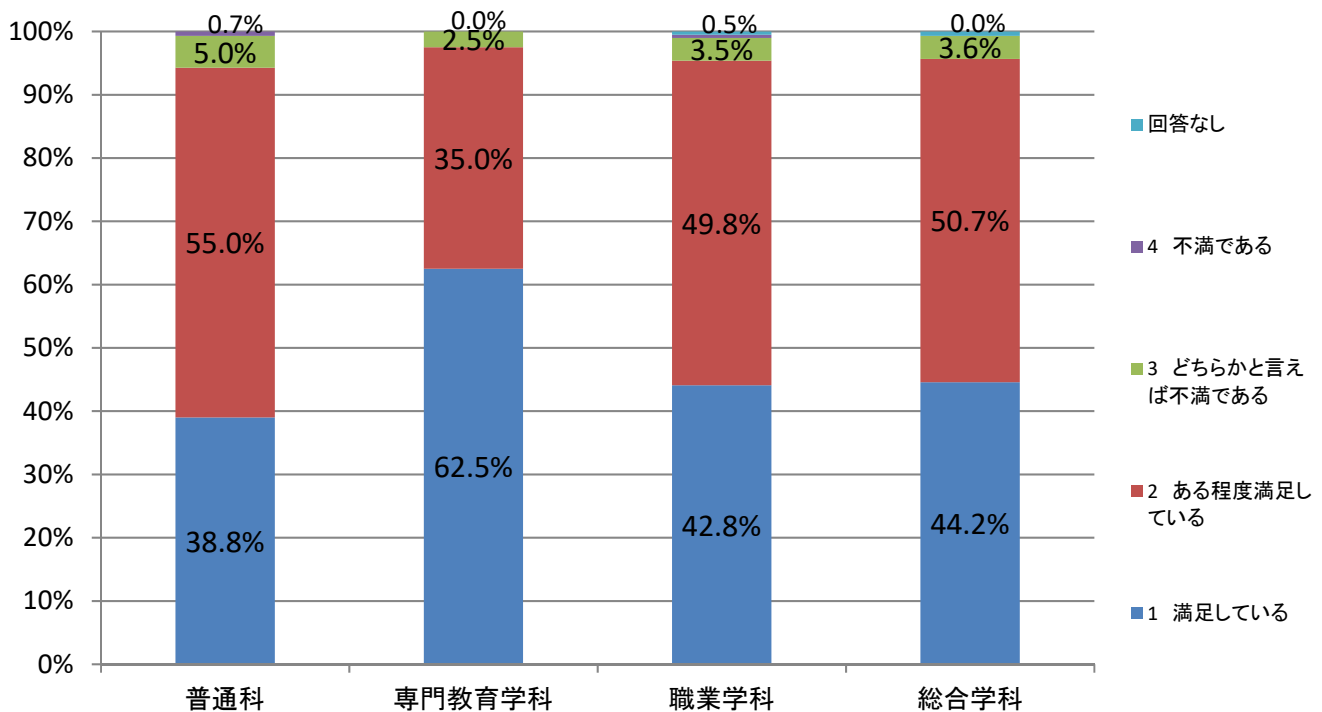
しかしながら、高1生徒では、「不満である」「どちらかと言えば不満である」が1割程度となっている。満足度を高める継続的な努力が必要である。

●学科別(高1生徒)



高1生徒では、専門教育学科で「満足」「ある程度満足」合わせて97.5%と満足度が最も高い。

●学科別(高1保護者)

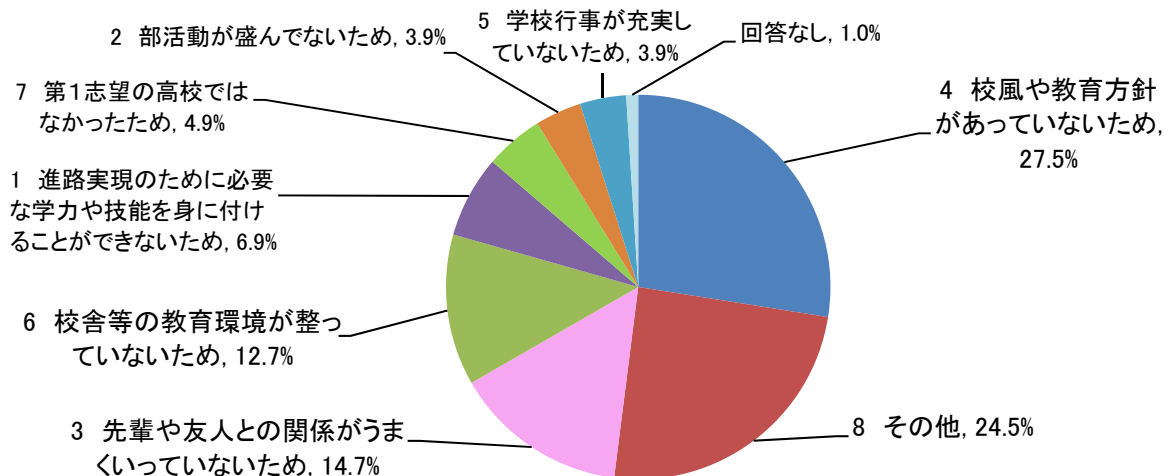


高1保護者の満足度は、全ての学科で、高1生徒の満足度以上である。

(質問) 在籍している高校に「3 どちらかと言えば不満である」「4 不満である」と回答した人にお聞きします。答えた主な理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

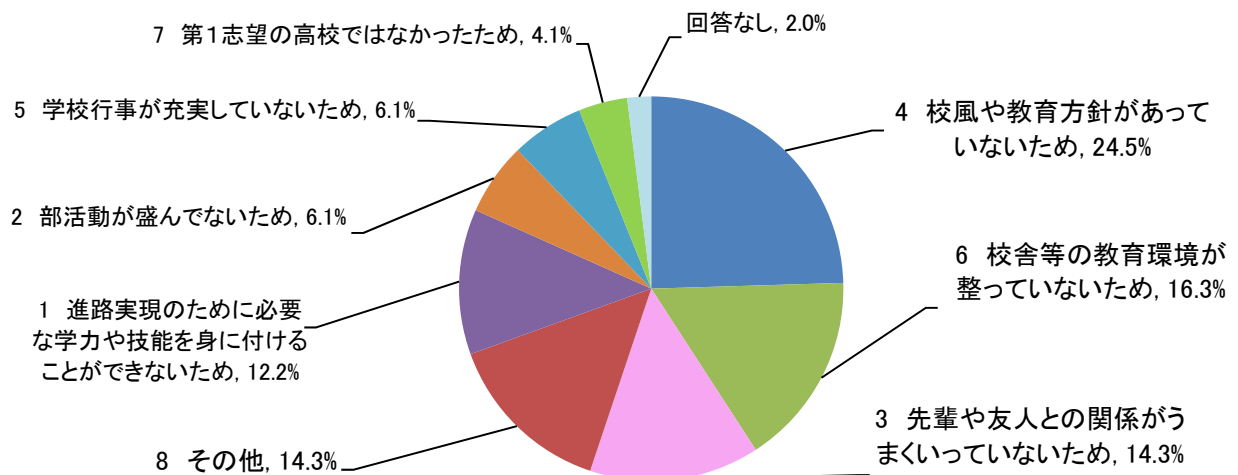
- 1 進路実現のために必要な学力や技能を身に付けることができないため
- 2 部活動が盛んでないため
- 3 先輩や友人との関係がうまくいっていないため
- 4 校風や教育方針があっていないため
- 5 学校行事が充実していないため
- 6 校舎等の教育環境が整っていないため
- 7 第1志望の高校ではなかったため
- 8 その他

高1生徒



【回答数:102】

高1保護者



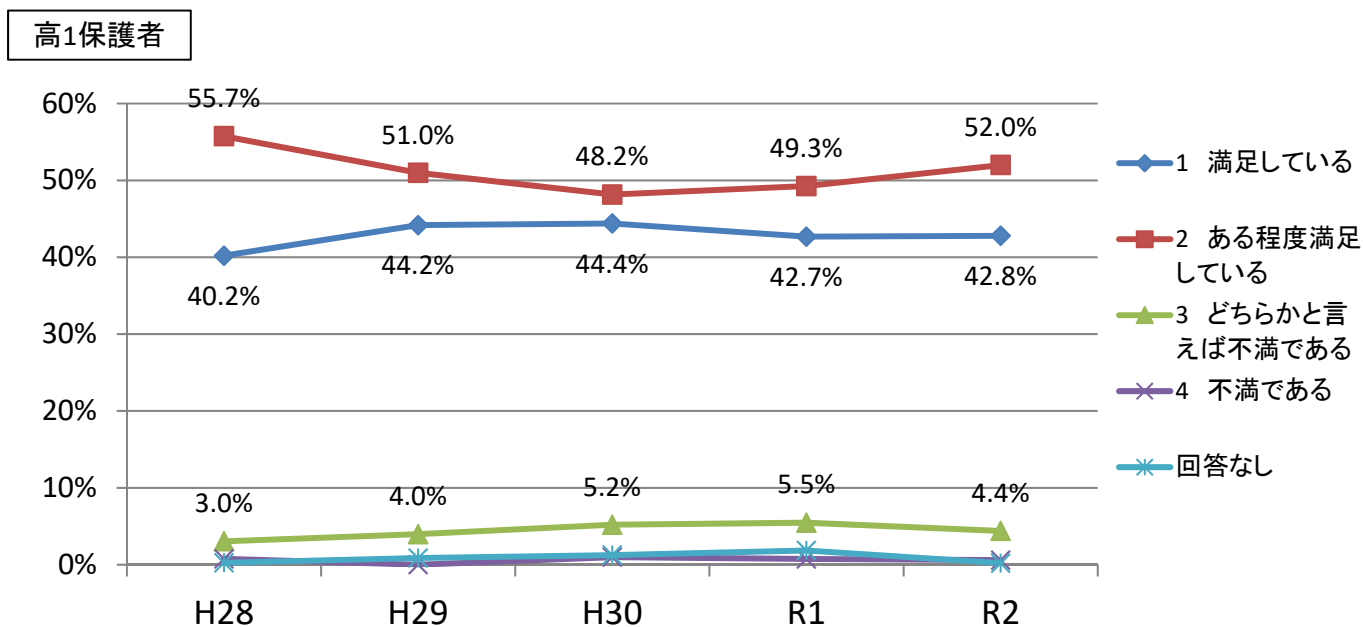
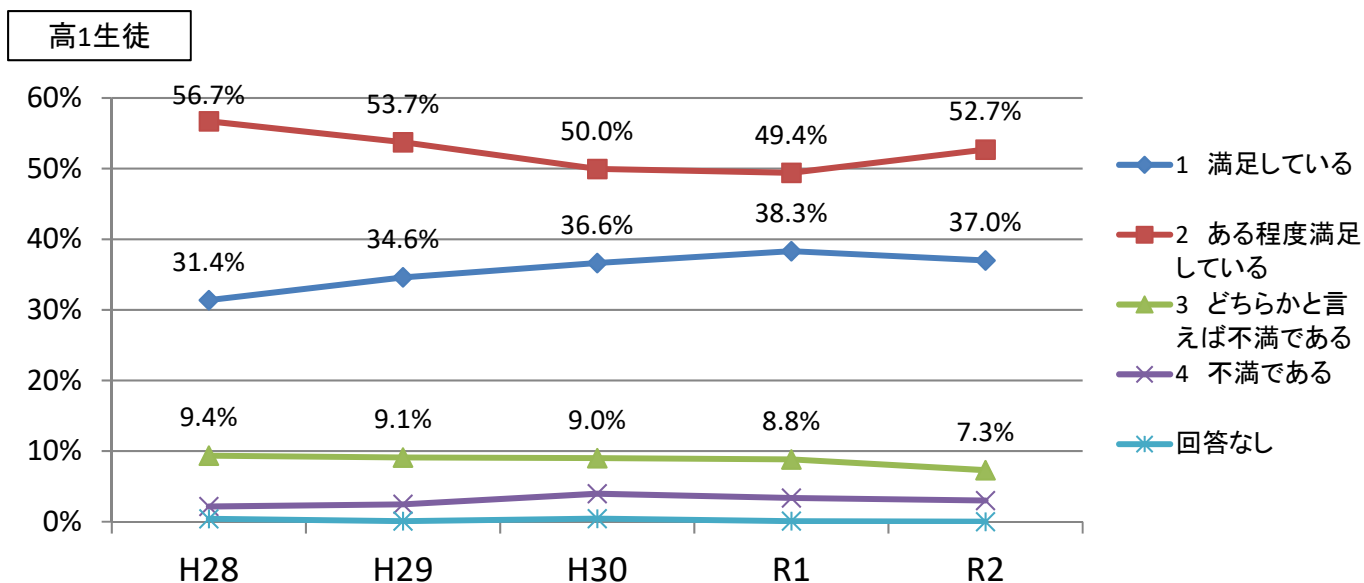
【回答数:49】

高1生徒・保護者ともに、「校風や教育方針があっていないため」が最も多い。

「先輩や友人との関係がうまくいっていないため」、「校舎等の教育環境が整っていないため」も1割強の不満の原因となっている。

なお、「その他」は、高1生徒では「学則が厳しい」、保護者では「部活動が厳しい」の意見が複数ある。

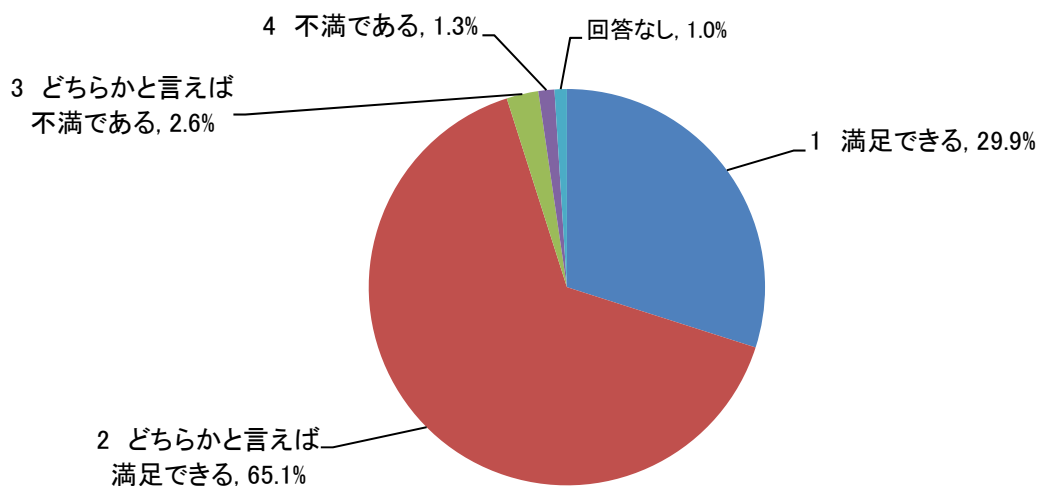
●学校満足度の推移



高校満足度の推移では、全体としてはおおむね良好な状態を維持している。

(質問) 現在の勤務校の地域にある公立高校(複数ある場合は全体として)の教育活動等についてどのように感じていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 満足できる
- 2 どちらかと言えば満足できる
- 3 どちらかと言えば不満である
- 4 不満である



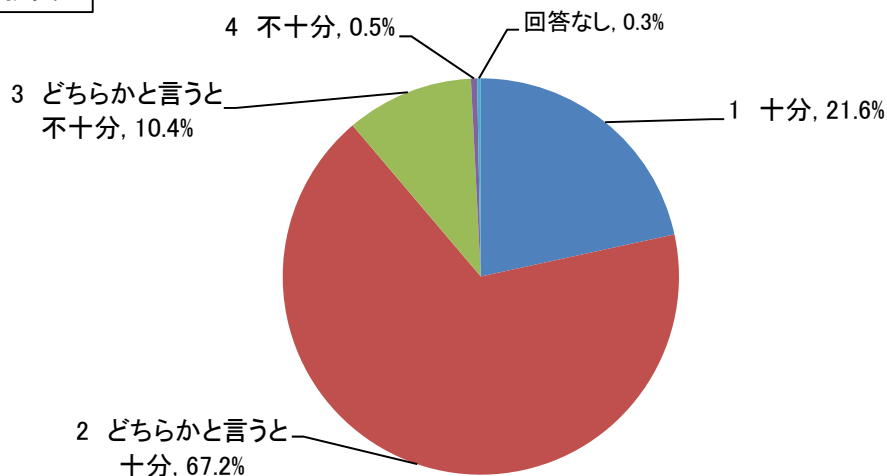
【回答数:384】

地域にある最寄りの県立高校の教育活動については、「満足できる」、「どちらかと言えば満足できる」を合わせると9割を超えており、中学教員から一定の評価を得ている。

(質問) 公立高校から、学校に関する情報(教育活動・学校行事・部活動など)の提供状況について
 はどう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分 2 どちらかと言うと十分 3 どちらかと言うと不十分 4 不十分

中学教員

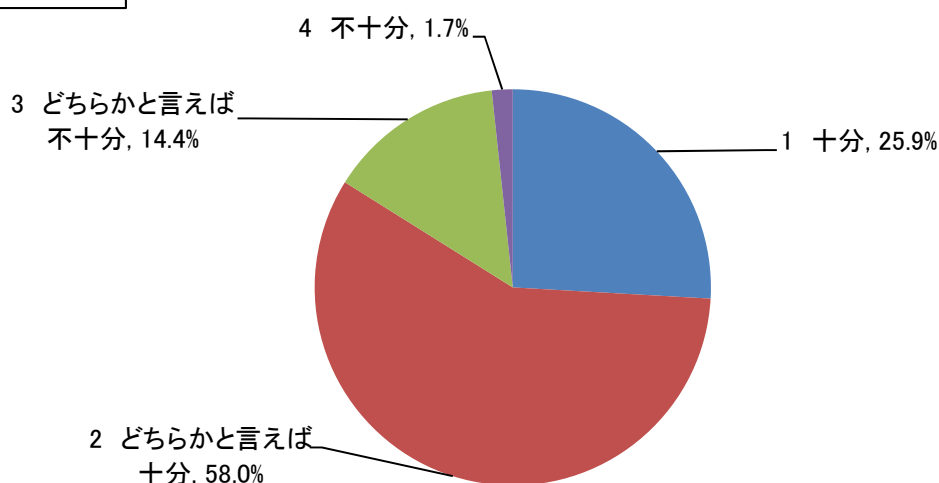


【回答数:384】

(質問) 現在勤務している高校において、中学生やその保護者への情報発信状況についてどう考
 えますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分 2 どちらかと言えば十分 3 どちらかと言えば不十分 4 不十分

高校教員



【回答数:522】

高校からの情報発信については、中学教員及び高校教員ともに、十分ではない方向の回答が一定割合ある状況である。

各県立高校においては、さらなる情報発信や情報開示を推進していく必要がある。

4 魅力ある高校づくりについて

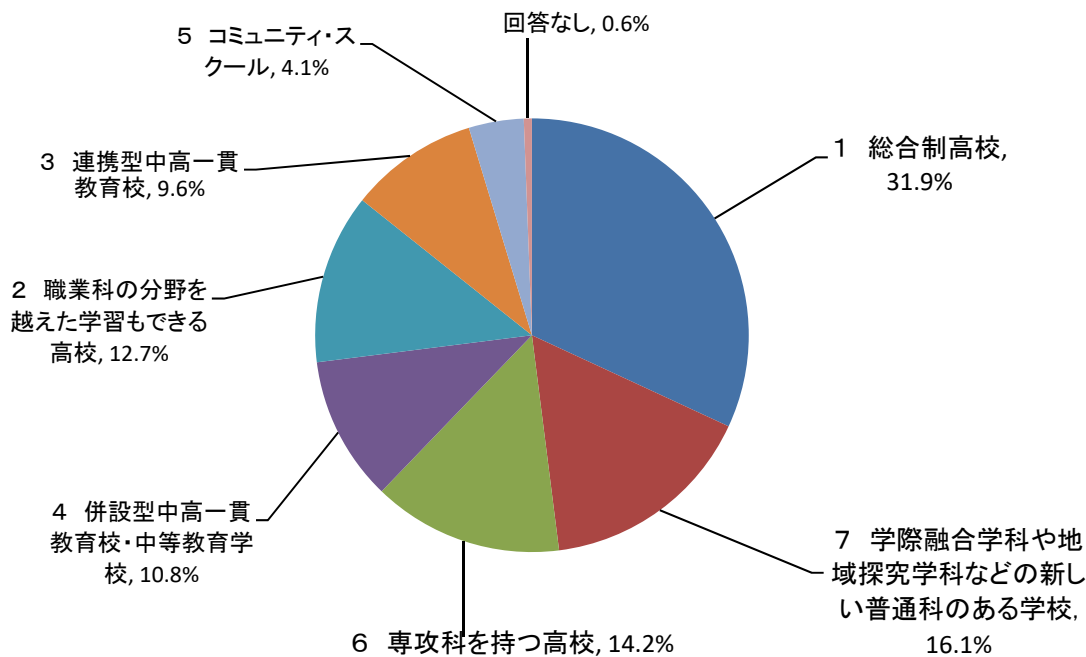
今後の魅力ある高校づくりに関わる諸項目について、考え方を尋ねた。

① 今後必要となる学校

【全調査対象者】

(質問) 今後必要となる学校のタイプ(種類)はどのようなものと考えますか?(次の中から1つ選んでください。)

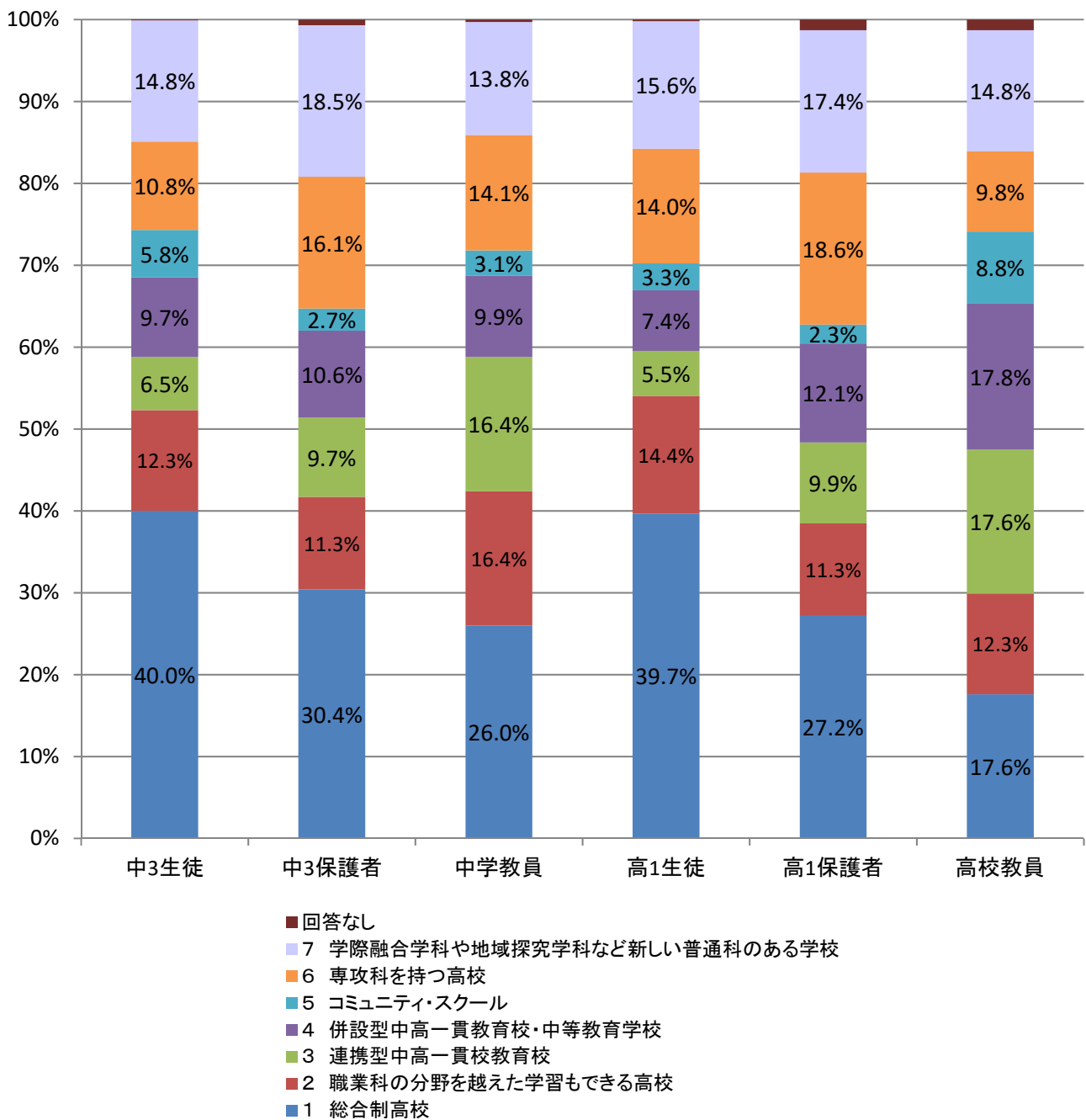
- 1 総合制高校(一つの高校の中に普通科と職業科や総合学科を持つ)
- 2 一つの高校に農業・工業・商業の3学科が揃っており、分野を越えた学習もできる高校
- 3 連携型中高一貫教育校(中学校と高校がお互いに協力して教員・生徒間交流等の連携を行う学校)
- 4 併設型中高一貫教育校・中等教育学校(高校・後期課程に進む際に入試がなく、6年間一貫した教育を行う学校)
- 5 コミュニティ・スクール(地域の意見を反映した高校運営を行う)
- 6 専攻科を持つ高校(職業高校卒業後、1~2年間専門的技能等を高める課程)
- 7 国際的な課題解決力を育む学際融合学科や地域の持続的発展に係る地域探究学科などの新しい普通科のある高校



【回答数:4,781】

今後必要となる学校の種類としては、「総合制高校」の回答が最も多い。次いで、「学際融合学科や地域探究学科などの新しい普通科のある高校」「専攻科を持つ高校」の回答が多い。

●調査対象者別



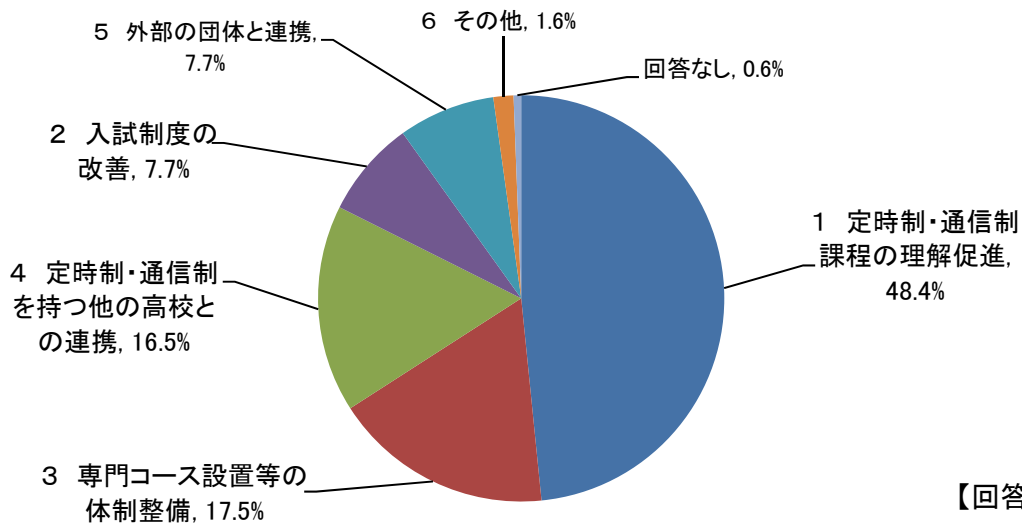
調査対象者別では、高校教員以外は、「総合制高校」の回答が最も多く、高校教員では「併設型中高一貫教育校・中等教育学校」が最も多い。

② 多様なニーズへの対応

【保護者・教員】

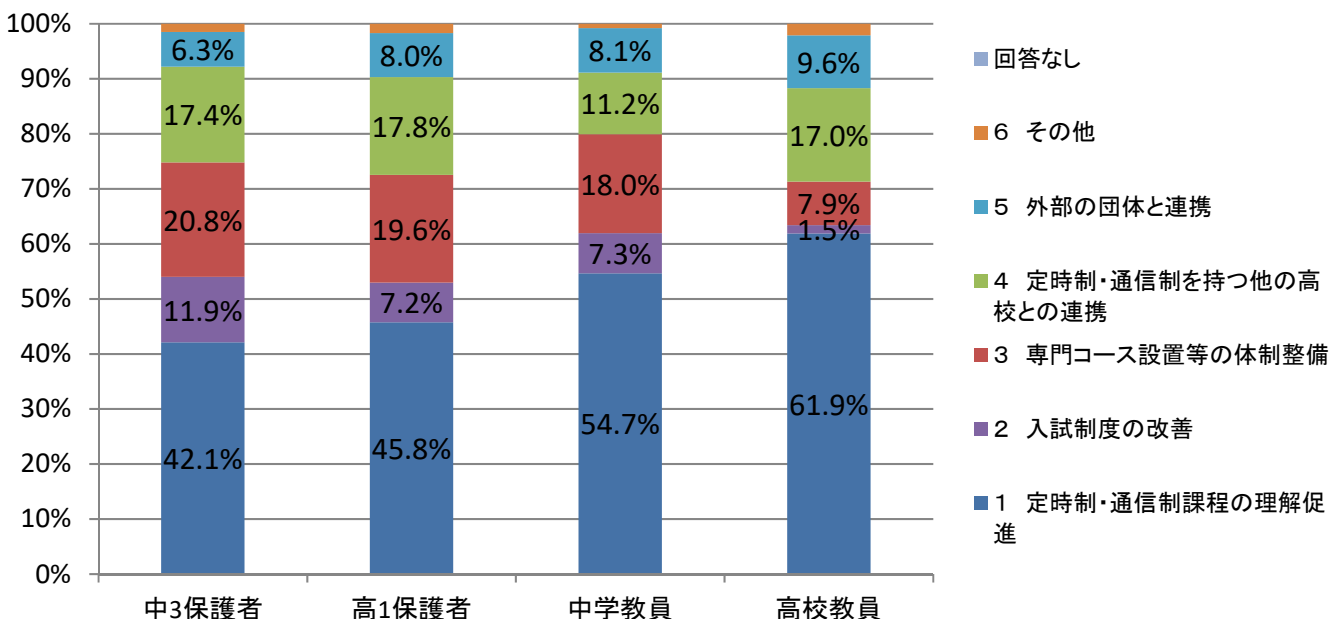
(質問) 中学校時代の長期欠席に伴う学力不足や複雑な家庭環境など多様な生徒の多様な学びのニーズに応えるために、どのような対応が最も良いと考えますか？ (次の中から1つ選んでください。)

- 1 多様な学びが可能である定時制課程や通信制課程についての理解促進を図る
- 2 高校進学を確保するために、学力検査の科目を減らすなど入試制度を改善する
- 3 自然や地域とふれあうなど、安心して高校生活を送ることができる専門コースの設置などの体制整備を行う
- 4 定時制課程や通信制課程を持つ他の高校と連携して対応する
- 5 外部の団体(大学、NPO、ボランティア)と連携して対応する
- 6 その他



【回答数:2,823】

●調査対象者別

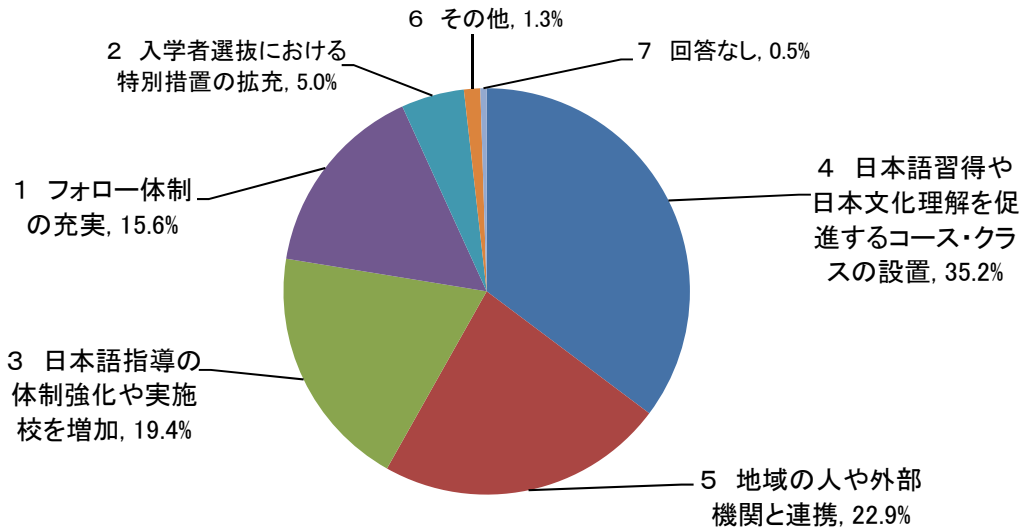


多様なニーズへの対応については、全体では「定時制・通信制課程の理解促進」がほぼ半数である。

③ 日本語が苦手な外国籍生徒への対応 【保護者・教員】

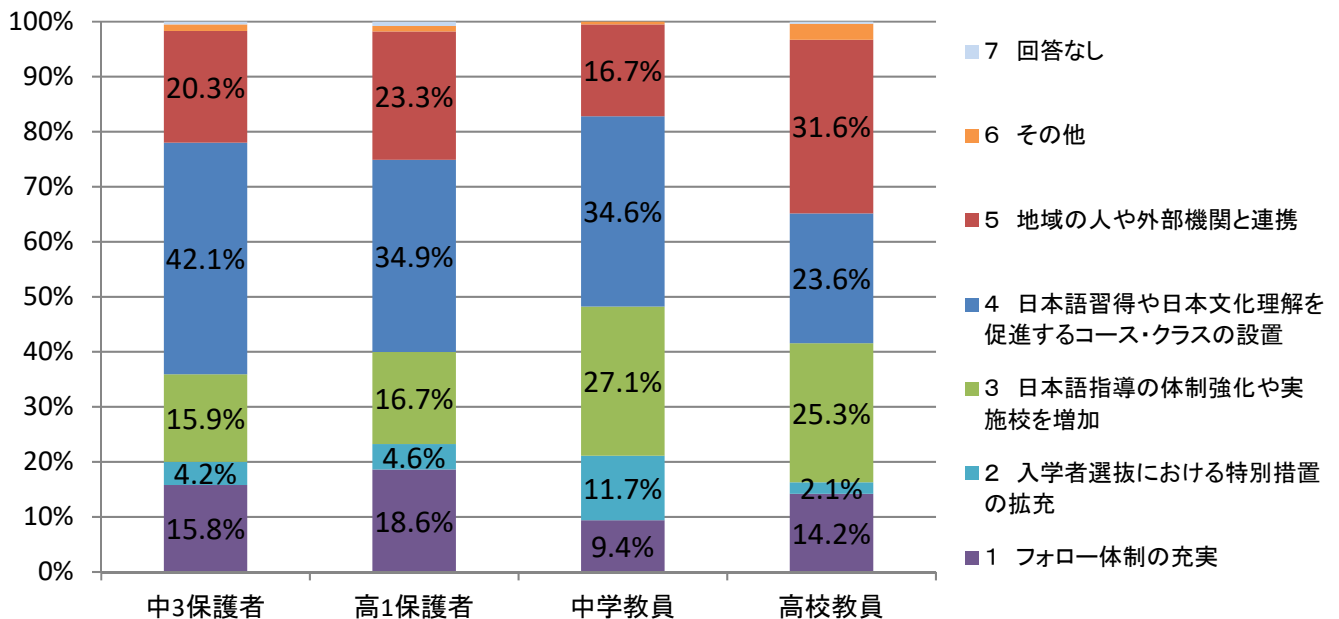
(質問) 日本語が苦手な外国籍生徒の高校進学ニーズに応えるため、高校はどのような対応をすることが重要だと思いますか？ (次の中から1つ選んでください。)

- 1 カウンセラーなどによるフォロー体制を充実させる
- 2 入学者選抜において学力検査の科目を減らすなどの特別措置を拡充する
- 3 現在日本語指導を行っている高校の体制強化や実施高校を増加する
- 4 日本語が特に苦手な生徒のため、日本語習得や日本文化理解を促進するコース・クラスを設置する
- 5 外国語を話せる地域の方や外部の機関(大学、NPO団体、ボランティアなど)と連携して対応する
- 6 その他



【回答数:2,823】

● 調査対象者別



日本語が苦手な外国籍生徒への対応については、全体では「日本語習得や日本文化理解を促進するコース・クラスの設置」が多い。

調査対象者別では、高校教員で「地域の人や外部機関との連携」が多い。

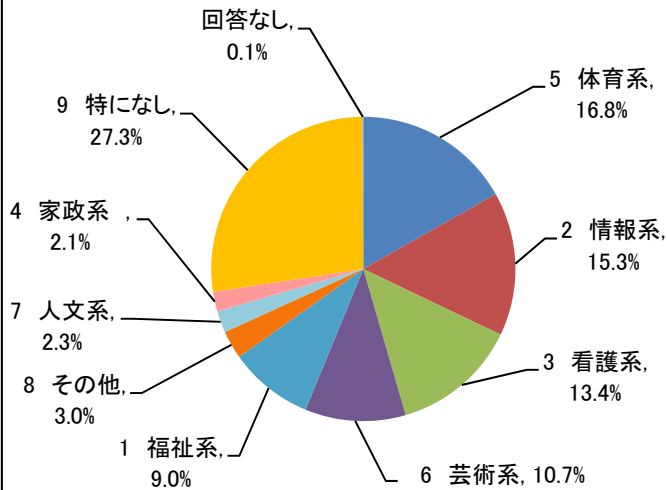
④ 設置を希望する学科

【全調査対象者】

(質問) 山梨県の公立高校にあつたら良いと思う分野の学科・コースはありますか？(次の中から1つ選んでください。)

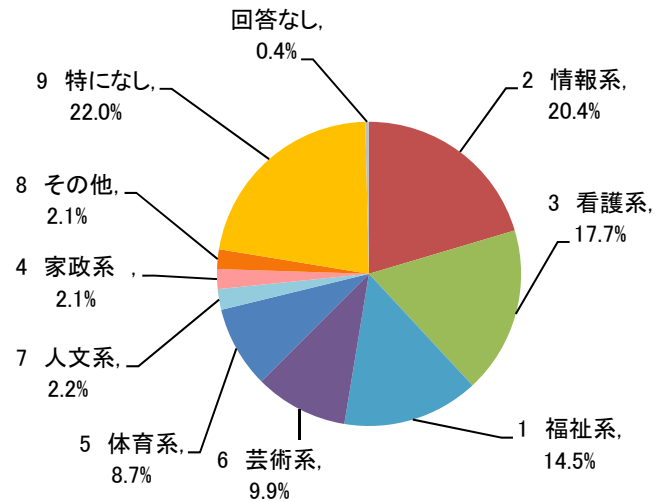
- 1 福祉系 2 情報系 3 看護系 4 家政系 5 体育系
6 芸術系 7 人文系 8 その他 9 特になし

中3生徒



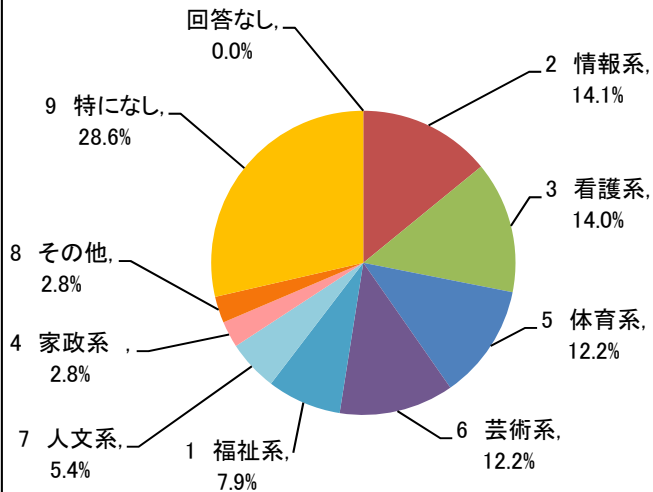
【回答数:969】

中3保護者



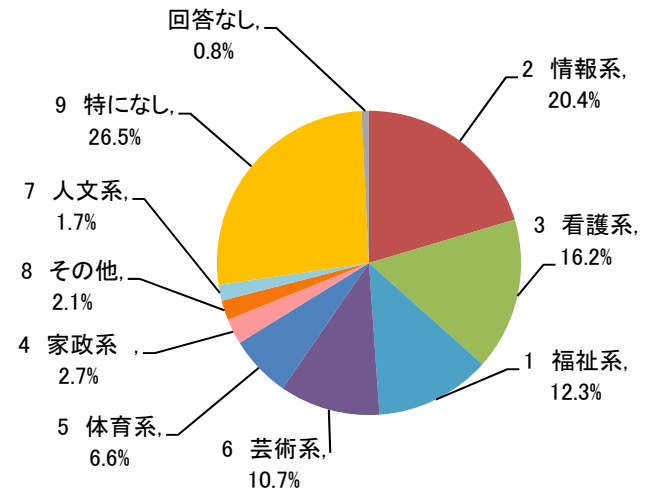
【回答数:943】

高1生徒

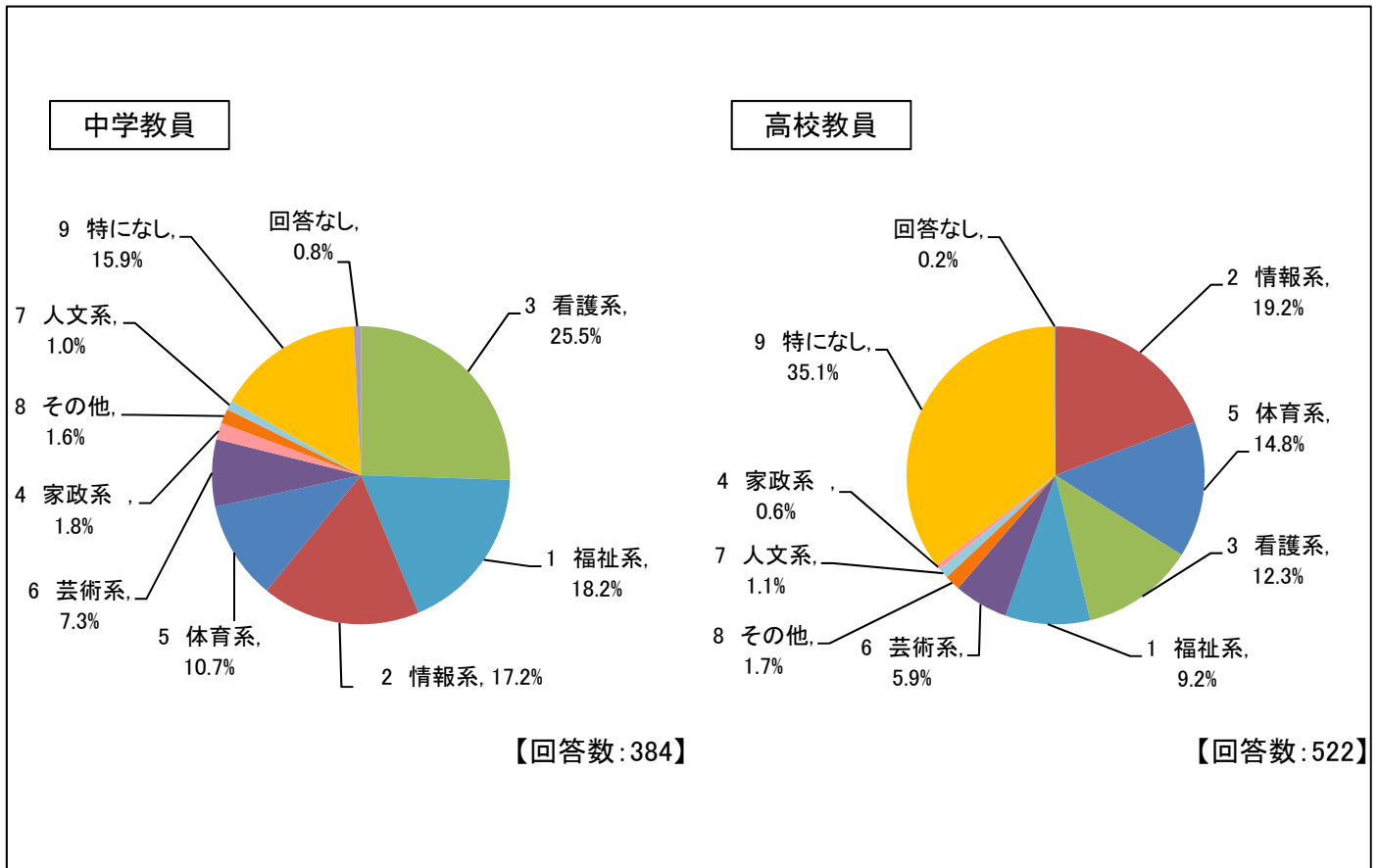


【回答数:989】

高1保護者



【回答数:974】



中3生徒では、体育系学科、情報系学科、看護系学科の回答が多い。中3保護者では情報系学科、看護系学科、福祉系学科の回答が多い。

高1生徒では、情報系学科、看護系学科、体育系学科の回答が多い。高1保護者では、情報系学科、看護系学科、福祉系学科の回答が多い。

中学教員では、看護系学科、福祉系学科、情報系学科の回答が多い。高校教員では、情報系学科、体育系学科、看護系学科の回答が多い。

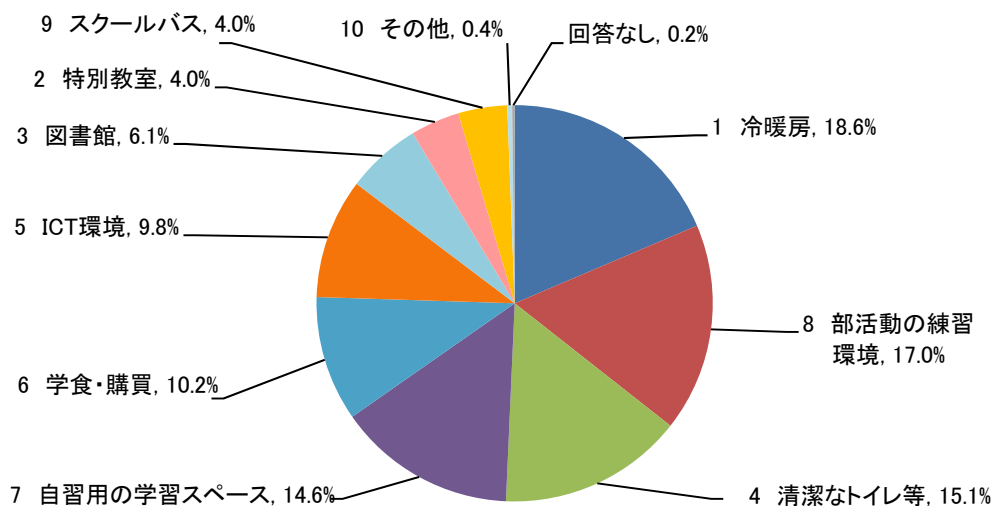
⑤ 公立高校に求める施設や設備

【生徒・保護者】

(質問) 公立高校にどのような施設・設備の充実を求めますか？最も優先するものを1つ選んでください。(次の中から1つ選んでください。)

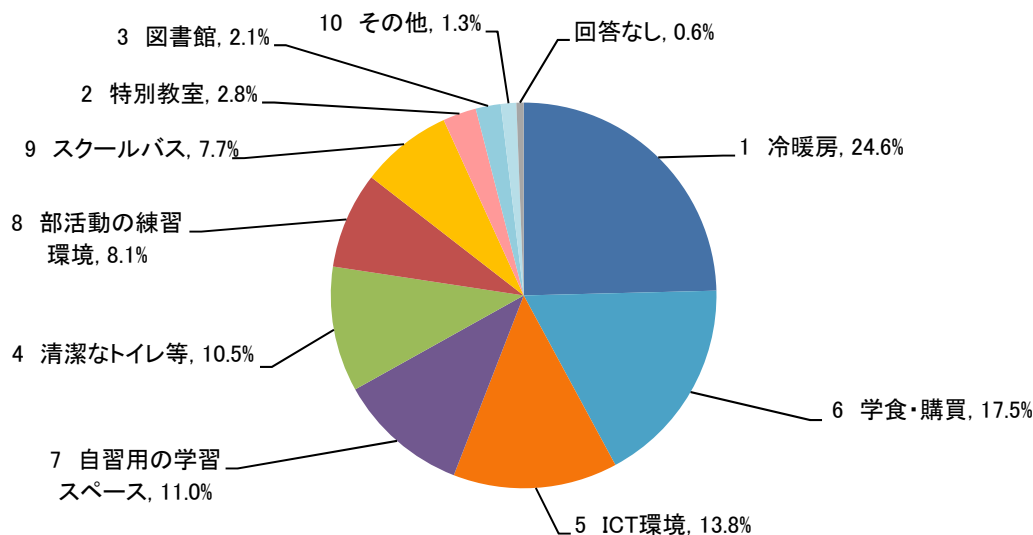
- 1 冷暖房(エアコンなど) 2 特別教室(音楽室、実習室など) 3 図書館 4 清潔なトイレ等
5 ICT環境 6 学食・購買 7 自習用の学習スペース 8 部活動の練習環境
9 スクールバス 10 その他

中3生徒



【回答数:969】

中3保護者

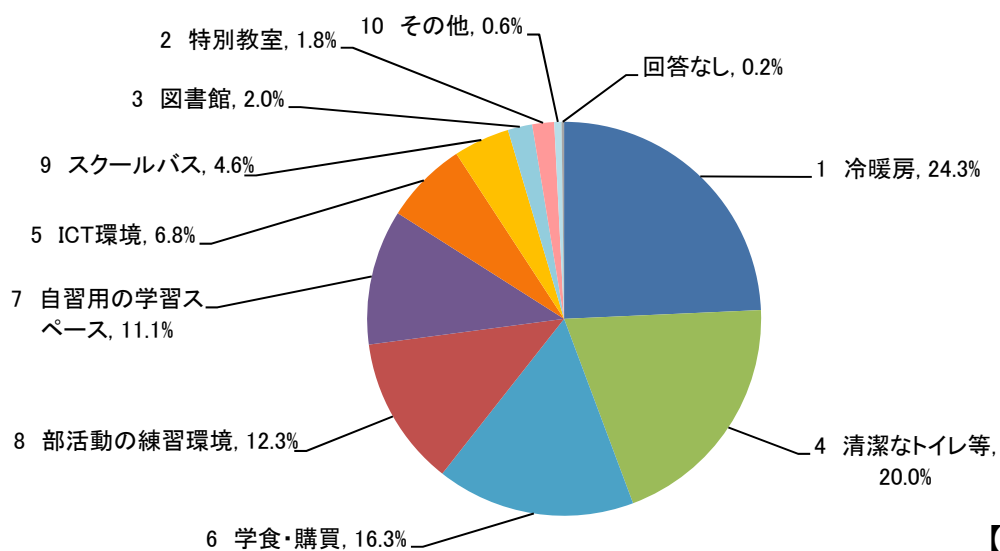


【回答数:943】

中3生徒及び保護者が公立高校に求める施設や設備として、「冷暖房」の回答が共通して多い。

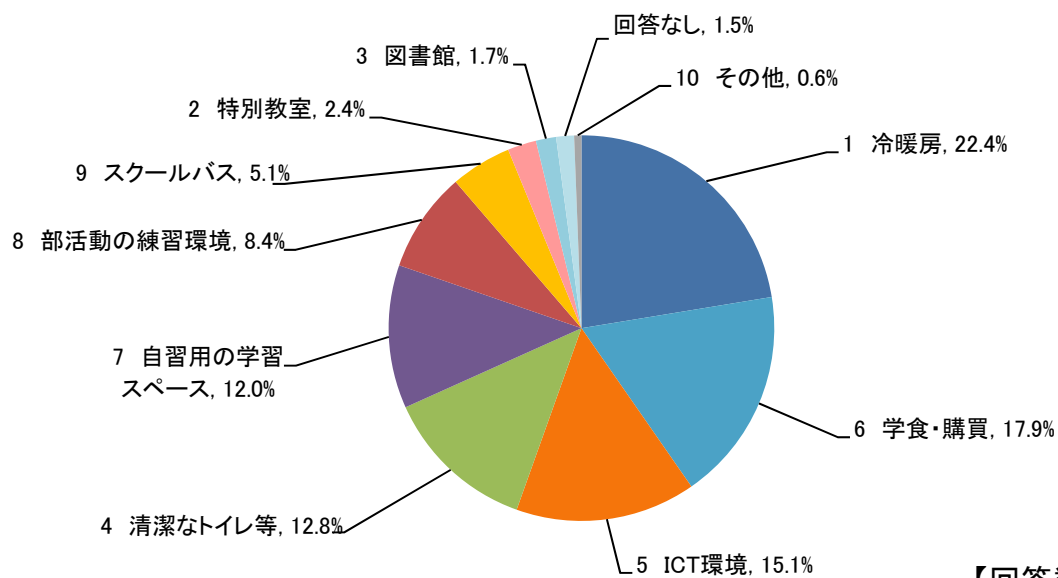
それ以外の回答では、中3生徒では「部活動の練習環境」の回答が多く、中3保護者では「学食・購買」の回答が多い。

高1生徒



【回答数:989】

高1保護者

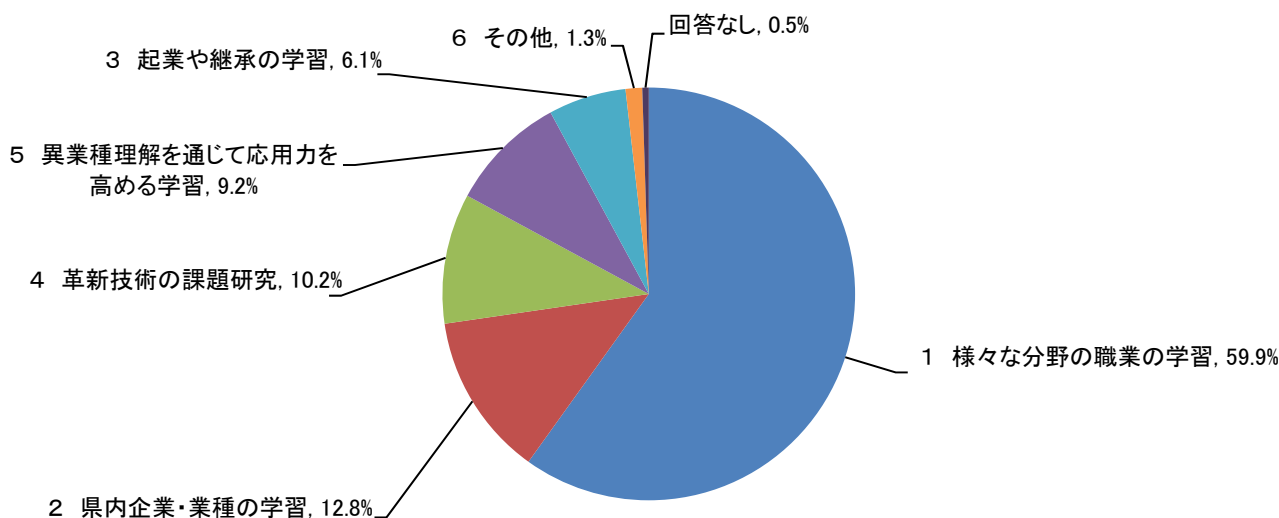


【回答数:974】

高1生徒では「冷暖房」、「清潔なトイレ等」の回答が多く、高1保護者では「冷暖房」「学食・購買」の回答が多い。

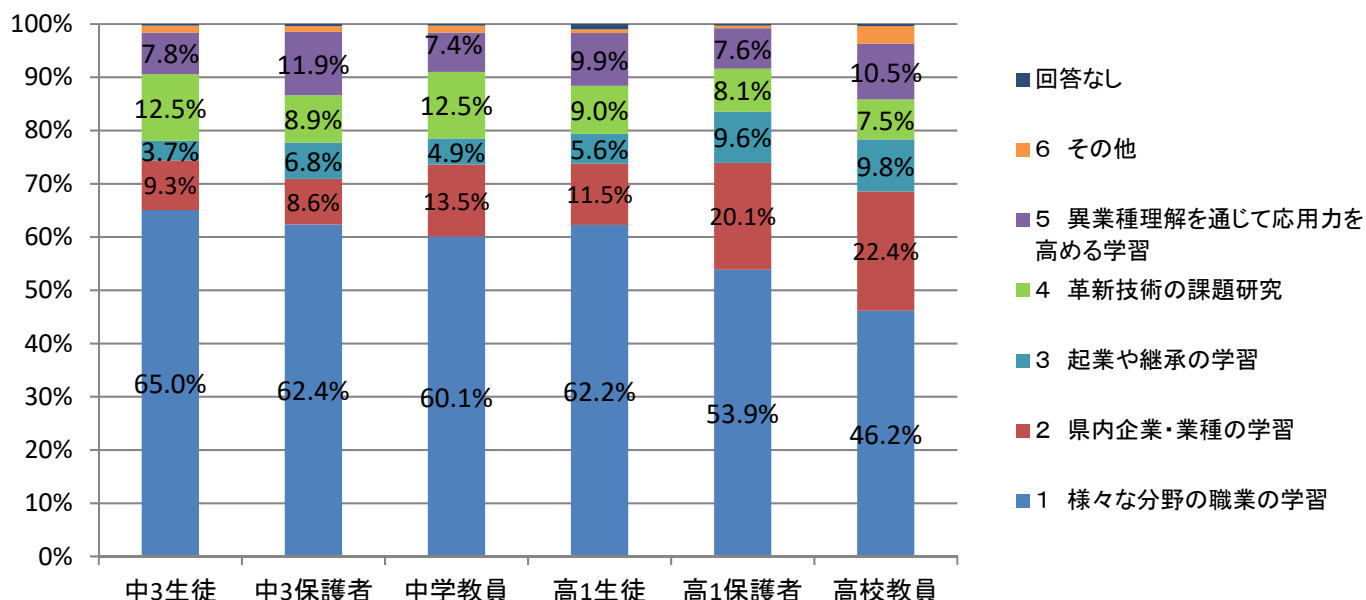
(質問) 将来の職業を考えていく上で、高校で最も取り組んでほしい教育活動はなんですか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 職業選択の幅を広げるため、様々な分野の職業についての学習
- 2 県内の企業や業種についての学習
- 3 実業家として起業することや伝統産業などの事業・起業の継承についての学習
- 4 大学や企業と連携して「5G」「VR」などの革新技術の課題研究
- 5 異業種理解を通じて応用力を高める学習
- 6 その他



【回答数:4,781】

●調査対象者別



全体では、「職業選択の幅を広げるため、様々な分野の職業についての学習」、「県内の企業や業種についての学習」の回答が多い。

調査対象者別では、高1保護者、高校教員で「県内の企業や業種についての学習」が他の調査対象者と比べて多い。

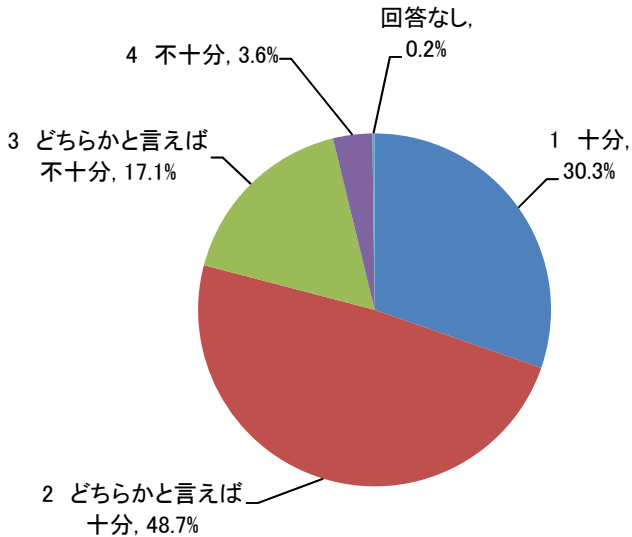
⑦ 高校の地域との関わり

【高1生徒・保護者】

(質問) 学校の教育活動や、学校行事、部活動などにおいて、地域との関わりはどう感じますか？
(次の中から1つ選んでください。)

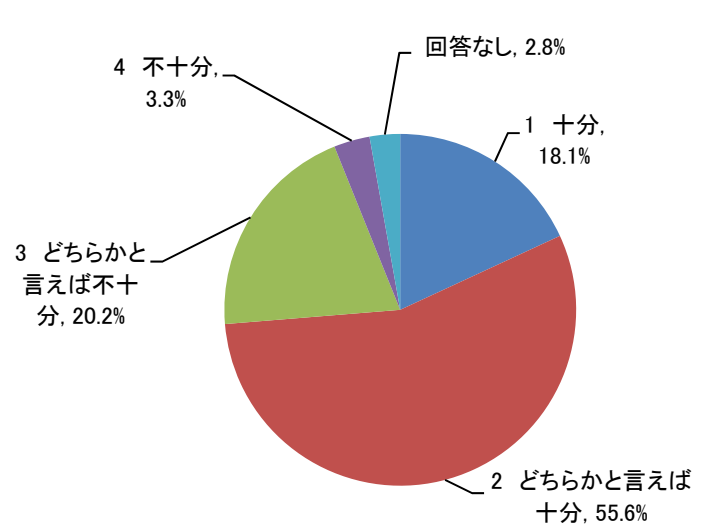
1 十分 2 どちらかと言えば十分 3 どちらかと言えば不十分 4 不十分

高1生徒



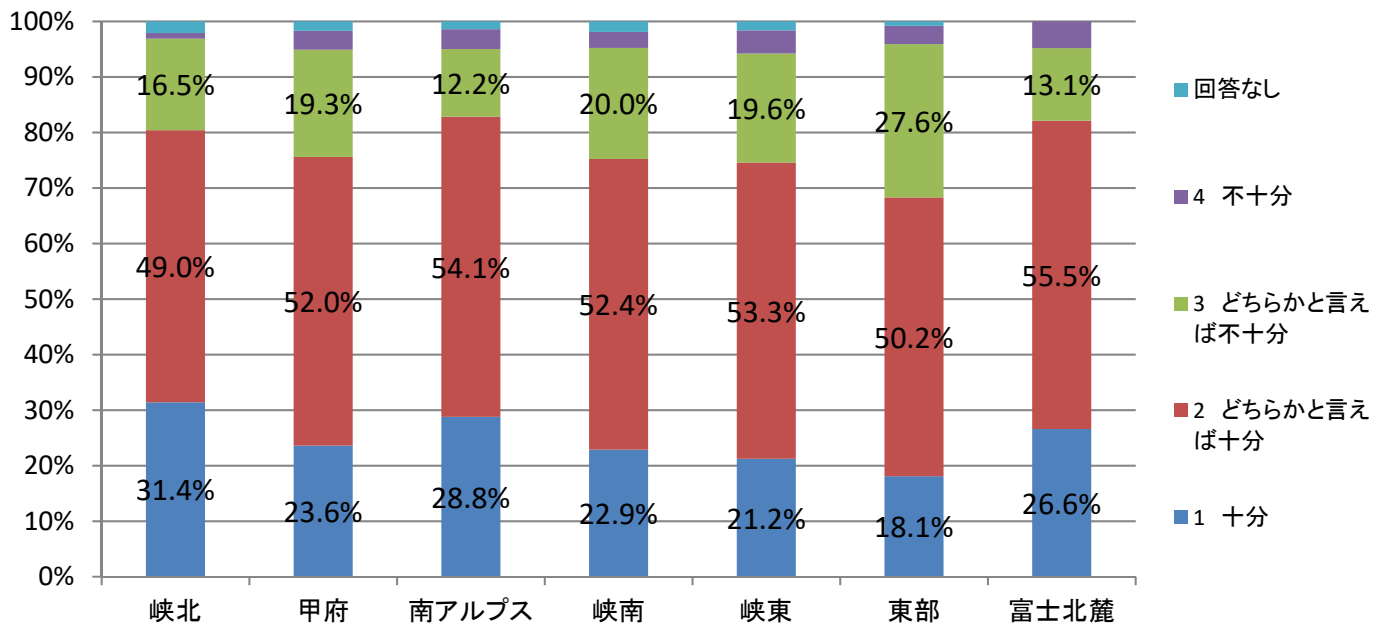
【回答数:989】

高1保護者



【回答数:974】

●地域別(高1生徒・高1保護者)



高校とその地域との関わりについては、良好である向きの回答が大半であった。

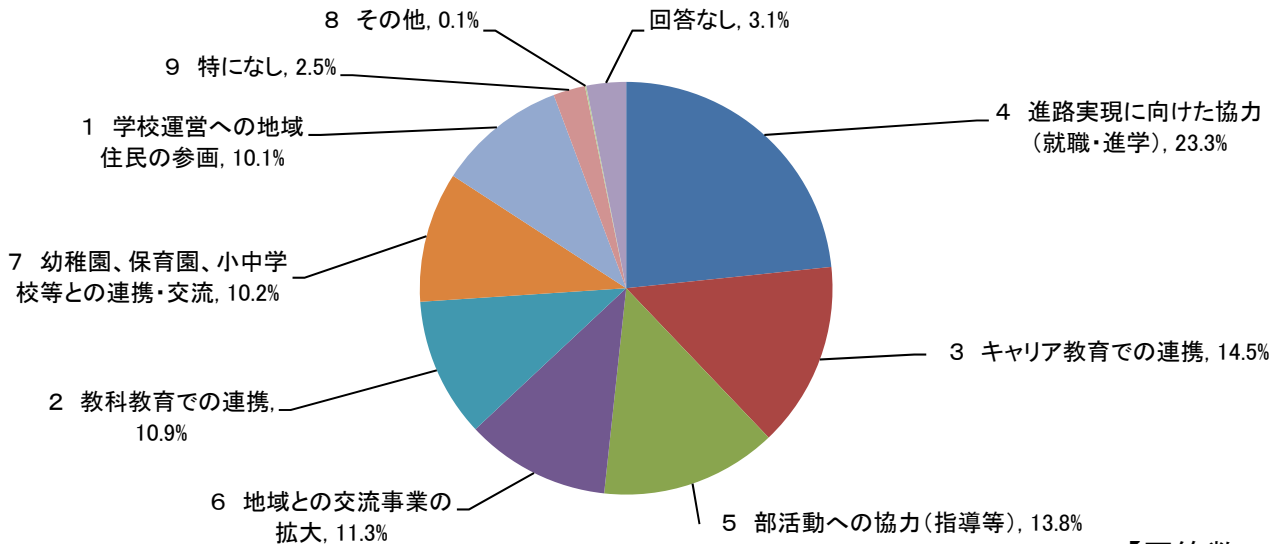
地域別では、南アルプス地域と富士北麓地域において他の地域より地域との関わりが良好な印象を持たれている。

⑧ 今後の地域との連携・協働

【全調査対象者】

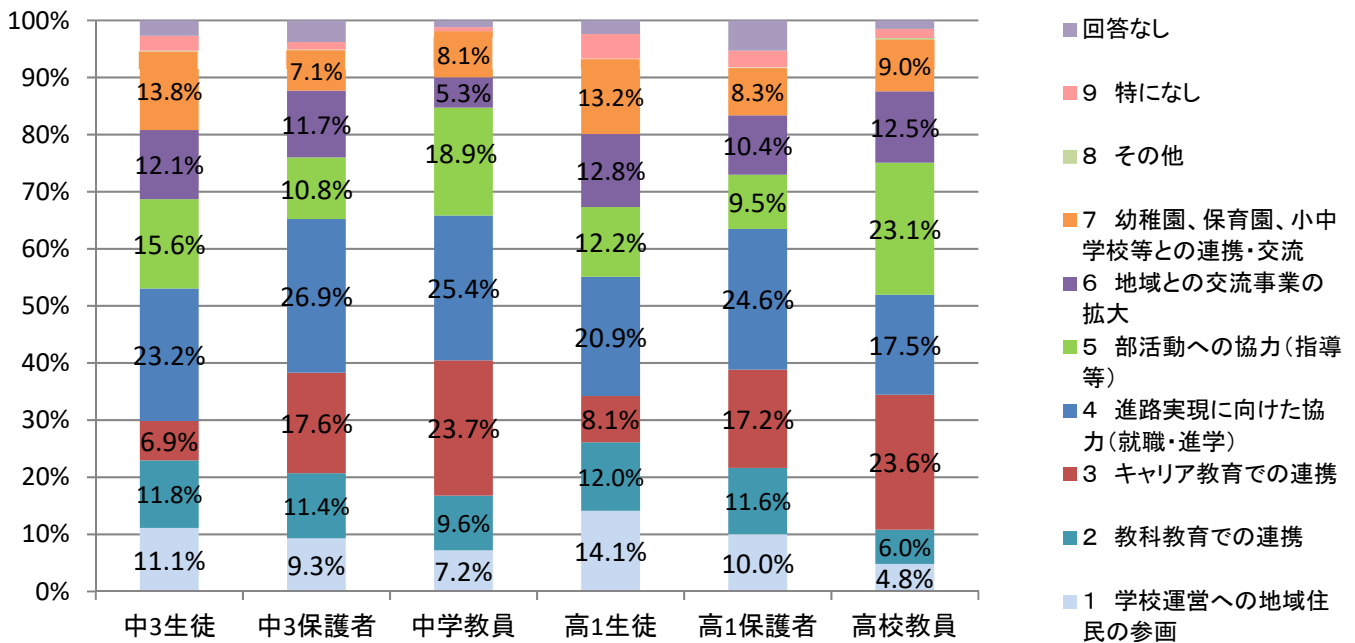
(質問) 学校の学習活動や、学校行事、部活動などにおいて、地域とどのように関わっていくと良いと考えますか？(次の中から2つ選んでください。)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 学校運営への地域住民の参画 | 2 教科教育での連携 |
| 3 キャリア教育での連携 | 4 進路実現に向けた協力(就職・進学) |
| 5 部活動への協力(指導等) | 6 地域との交流事業の拡大 |
| 7 幼稚園、保育園、小中学校等との連携・交流 | 8 その他 |
| 8 その他 | 9 特になし |



【回答数:4,781】

●調査対象者別



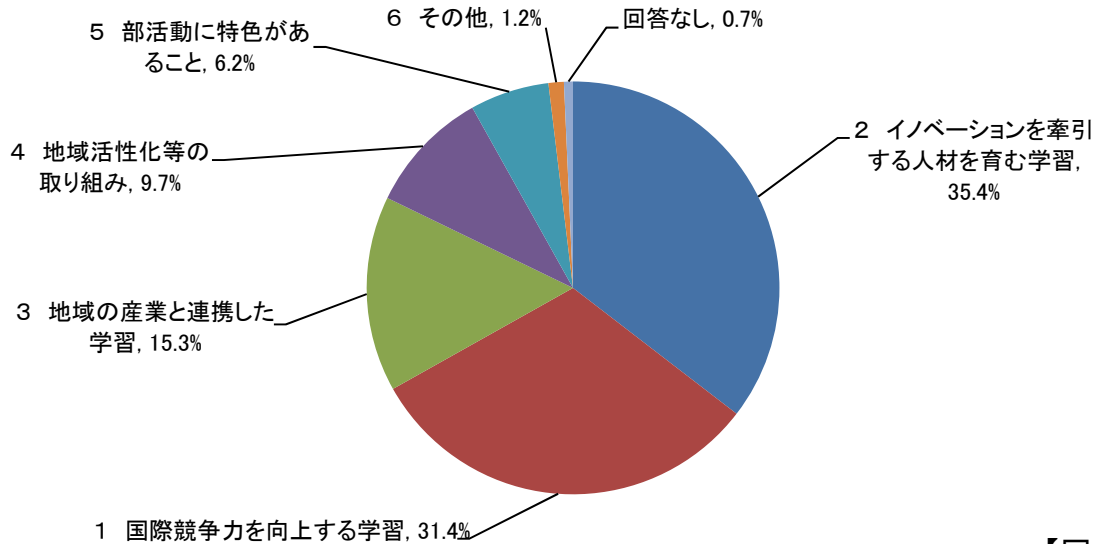
全体では、「進路実現に向けた協力」、「キャリア教育での連携」の回答が多い。
調査対象者別では、高校教員で「部活動への協力」の回答が他の回答者より多い。

⑨ これからの高校で重要なもの

【全調査対象者】

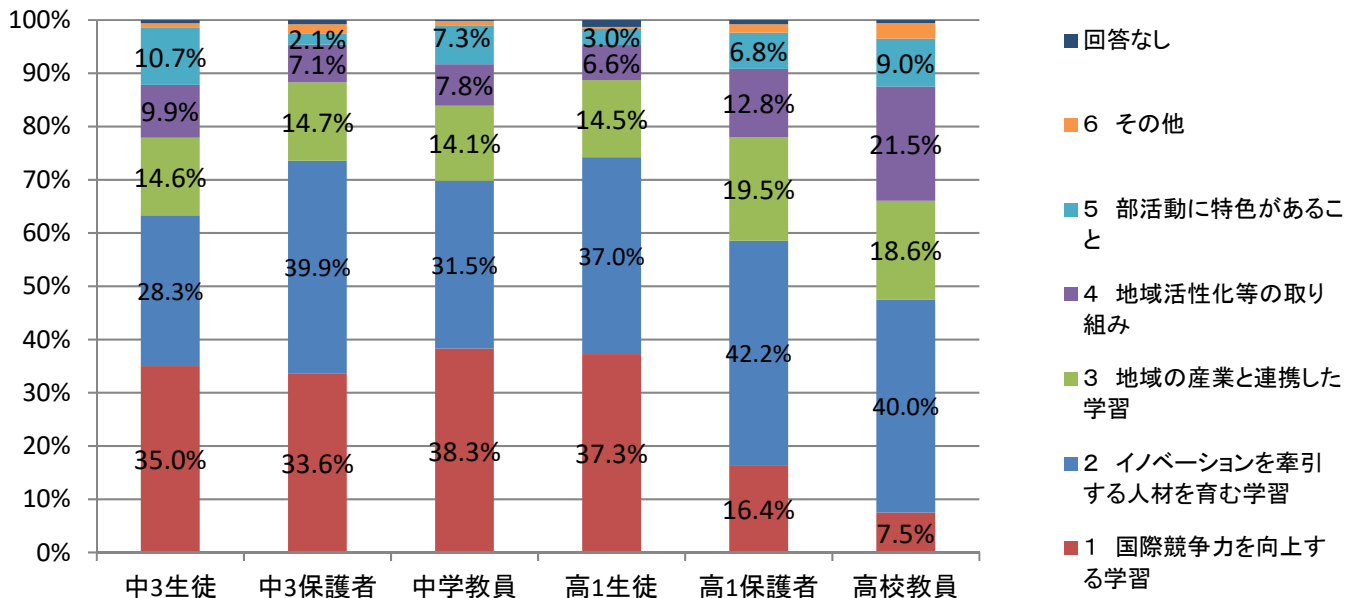
(質問) これからの高校はどのようなことが重要と思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 外国語での授業や第2外国語の学習など、国際競争力を向上する学習を行うこと
- 2 新たな価値を創造し、社会におけるイノベーションを牽引できる人材を育む学習を行うこと
- 3 ものづくりへの興味を高め、地域の産業と連携した学習を行うこと
- 4 地域の人々と連携して、地域の活性化等の取り組みを行うこと
- 5 歴史や伝統がある、あるいは地域に根ざしたスポーツなど部活動に特色があること
- 6 その他



【回答数:4,781】

●調査対象者別

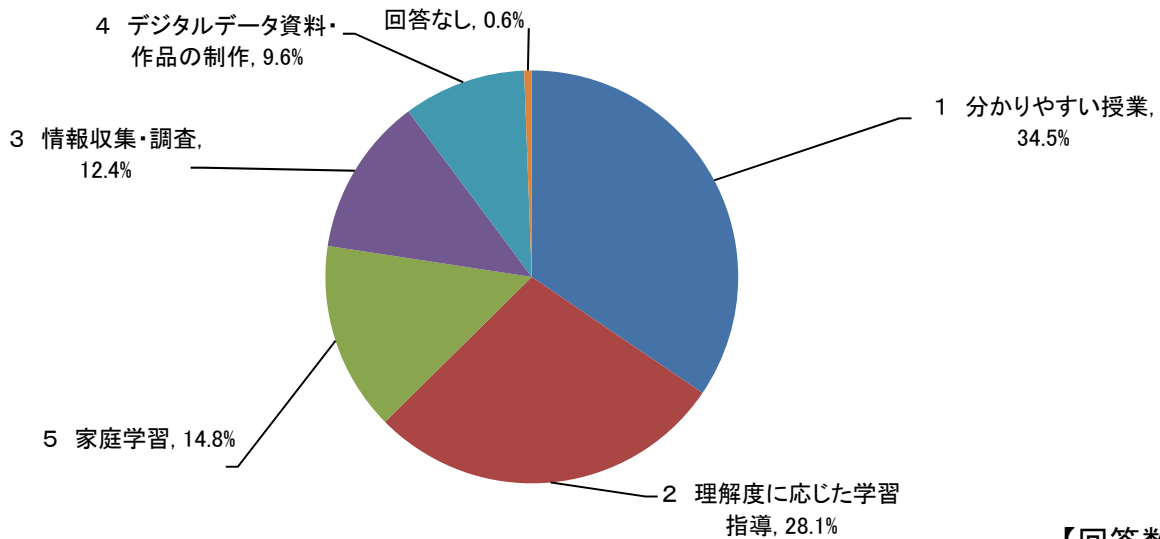


全体では、「イノベーションを牽引できる人材を育む学習」「国際競争力を向上する学習」の回答が多い。

調査対象者別では、中3・高3生徒では「国際競争力を向上する学習」の回答が多いが、保護者及び高校教員では「イノベーションを牽引する人材を育む学習」の回答が多い。

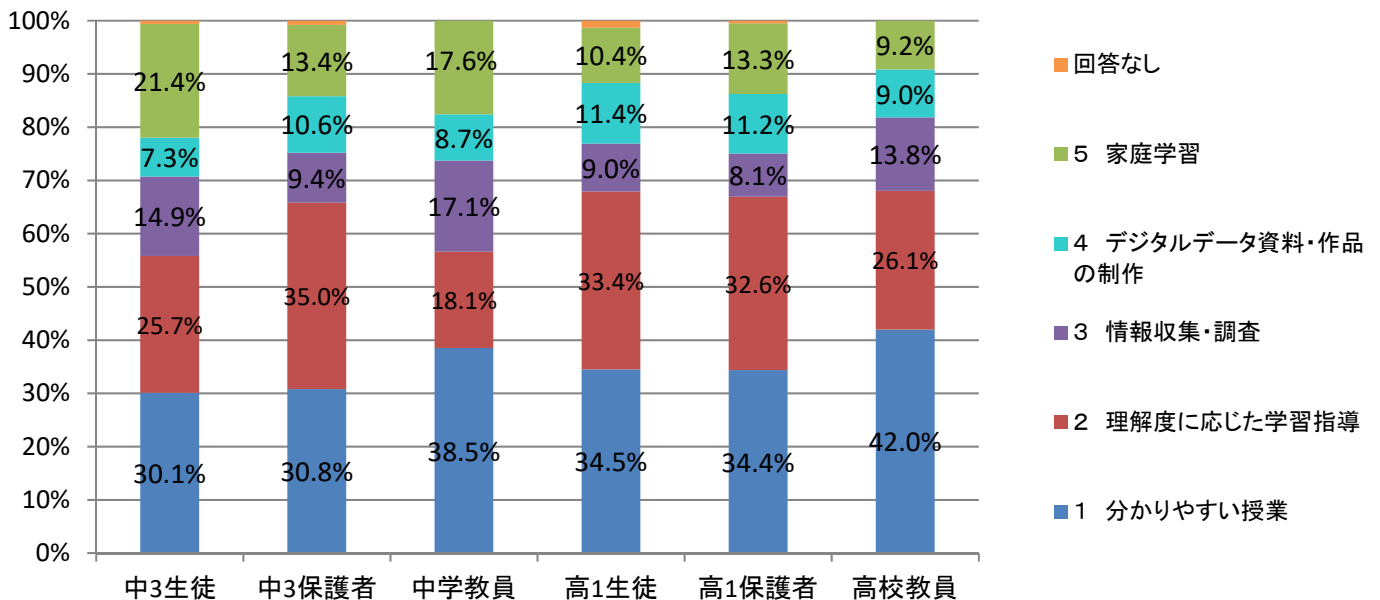
(質問) ICT機器について、授業や学習においてどのように利活用されることを最も期待しますか？
(次の中から1つ選んでください。)

- 1 音声・画像・動画の活用による分かりやすい授業
- 2 個々の生徒の学習履歴の活用による理解度に応じた学習指導
- 3 生徒自身でのインターネットを用いた情報収集・調査
- 4 映像・音声・文字等のデジタルデータを用いた資料・作品の制作
- 5 タブレットパソコン等の情報端末の持ち帰りによる家庭学習



【回答数:4,781】

●調査対象者別

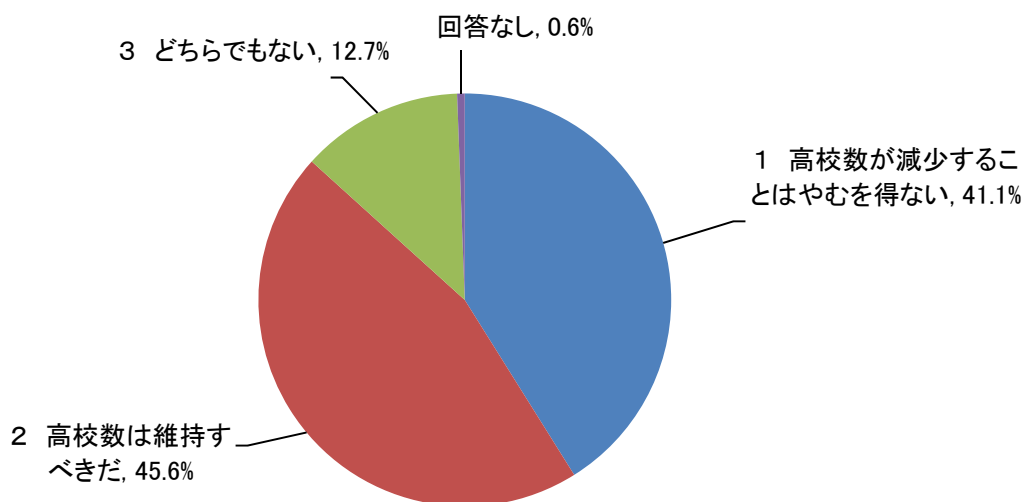


全体では、「音声・画像・動画の活用による分かりやすい授業」、「個々の生徒の学習履歴の活用による理解度に応じた学習指導」の回答が多い。

調査対象者別では、中学では高校と比べ「タブレットパソコン等の情報端末の持ち帰りによる家庭学習」の回答が多い。

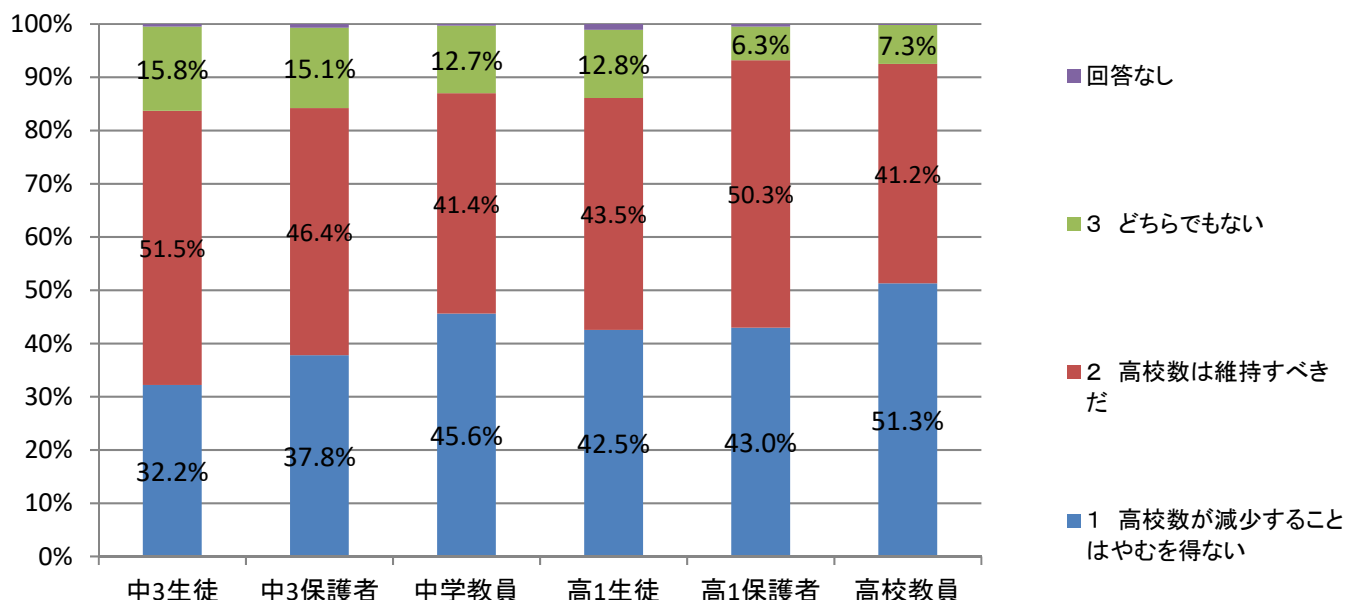
(質問) 人口減少に伴い中学校卒業生数は年々減少しており(過去10年間で約2000人減少),高校の数も減少しています。今後も生徒の減少が予測される中、公立高校数について、どのように考えますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 生徒数の減少に伴い、高校数が減少することはやむを得ない
- 2 生徒数は減少しても、高校数は維持すべきだ
- 3 どちらでもない



【回答数:4,781】

●調査対象者別



「高校数が減少することはやむを得ない」と「高校数は維持すべきだ」は、ほぼ拮抗している。

調査対象者別では、教員では「高校数が減少することはやむを得ない」の方が多いが、生徒・保護者では「高校数は維持すべきだ」の方が多い。